

令和 6 年度

ジェネリック医薬品に関する
アンケート調査結果



長崎県福祉保健部薬務行政室

県民

ジェネリック医薬品に関する県民アンケート調査結果

県民

○調査方法

・「ながさきWEB県政アンケート」による調査

○調査時期

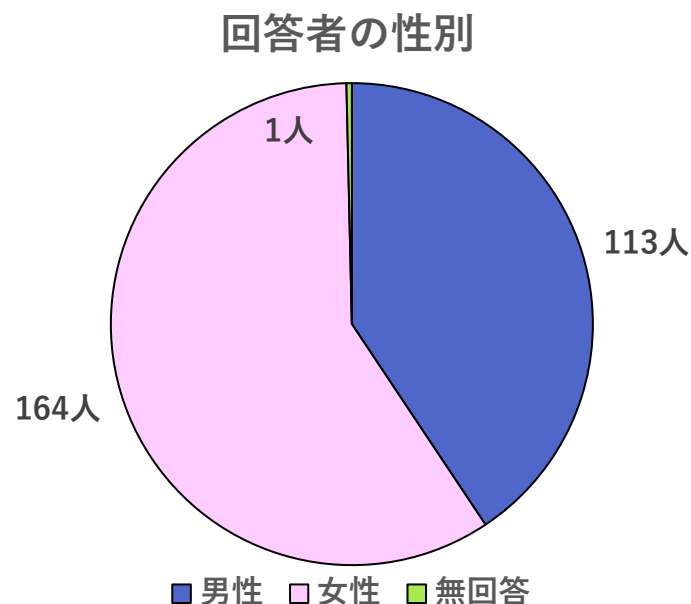
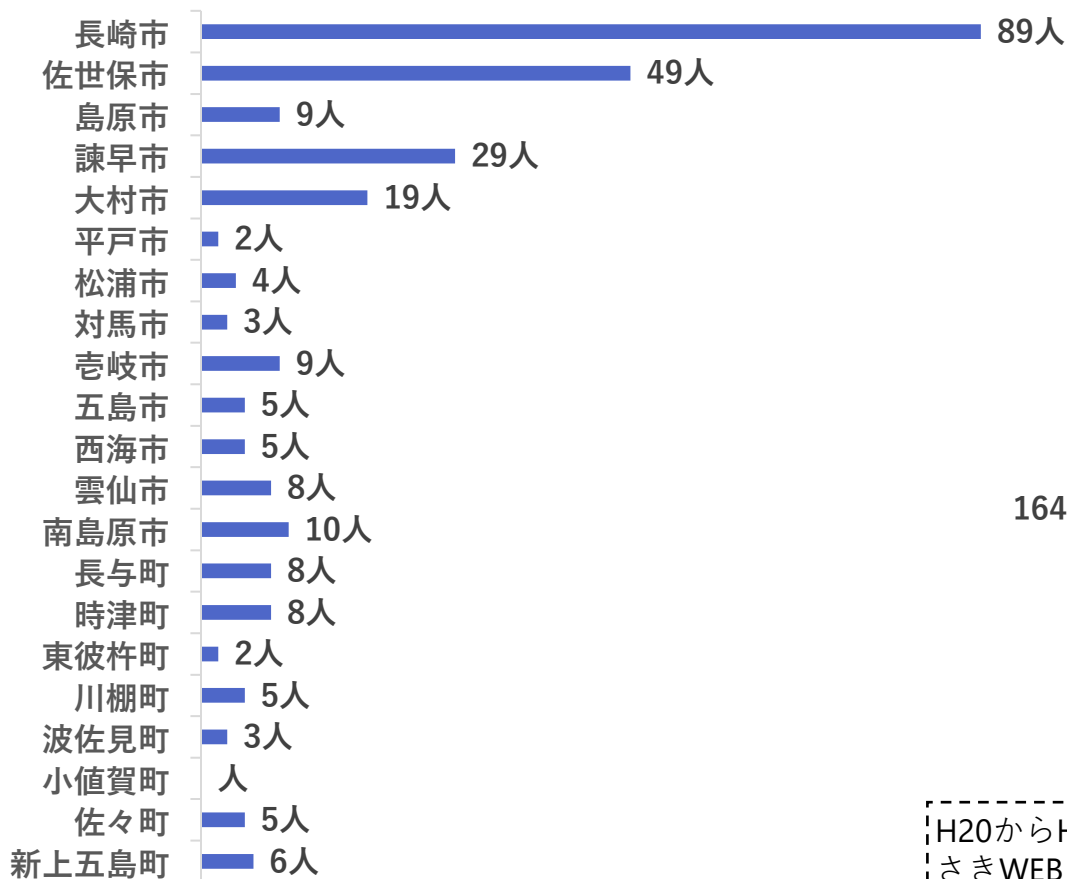
・令和6年9月2日から令和6年9月20日まで

○調査対象

・「ながさきWEB県政アンケート」全モニター

○対象者数、回答者数及び回収率

・対象者数：349人、回答者数：278人、回答率：79.7%

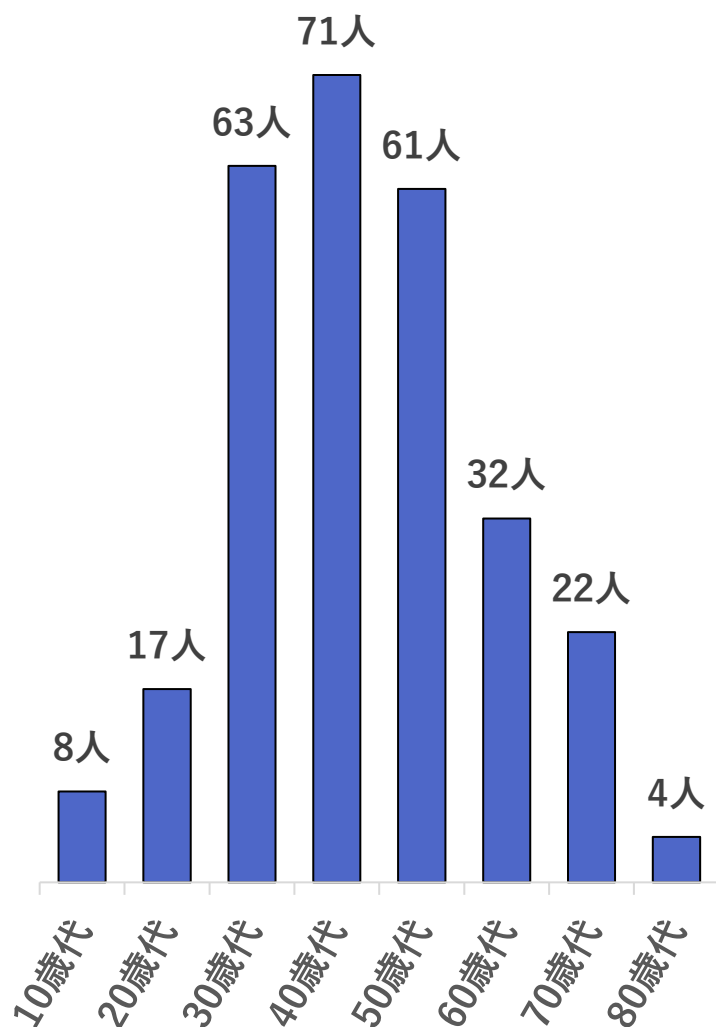


H20からH24までは、郵送による調査。H26からは「ながさきWEB県政アンケート」によるウェブ調査を実施。

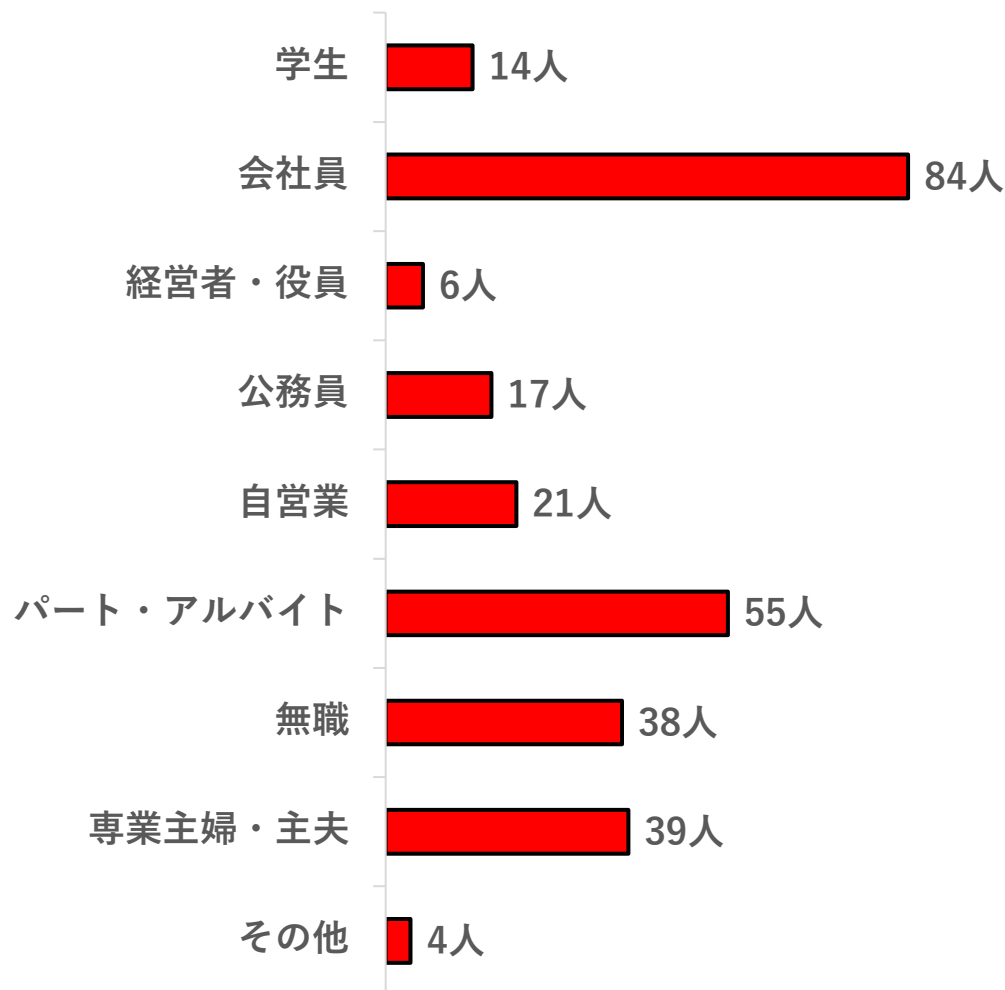
ジェネリック医薬品に関する県民アンケート調査結果

県民

回答者の年齢層



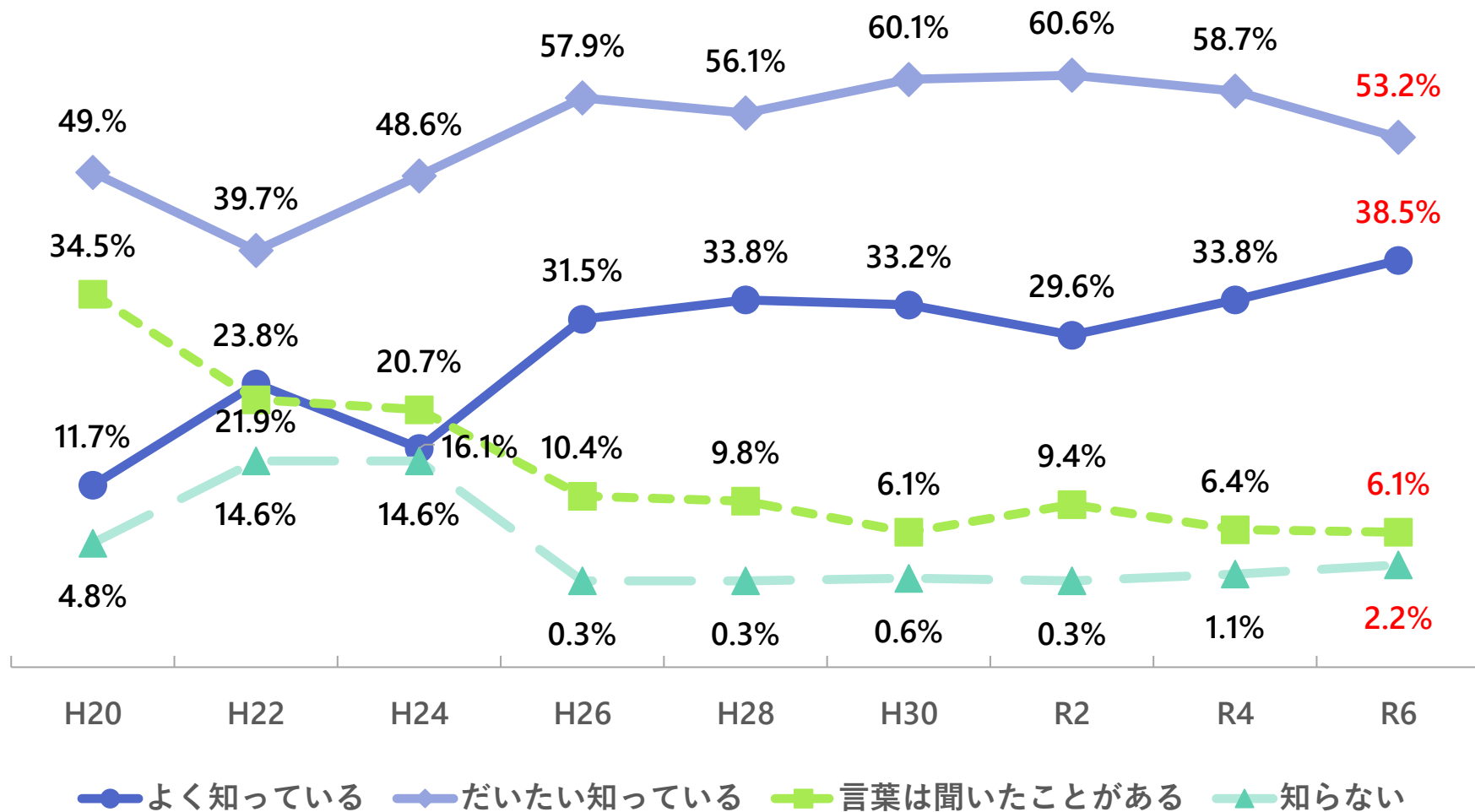
回答者の職業



問1.「ジェネリック医薬品」（後発医薬品）のことについてご存知ですか。（単一選択式）

県民

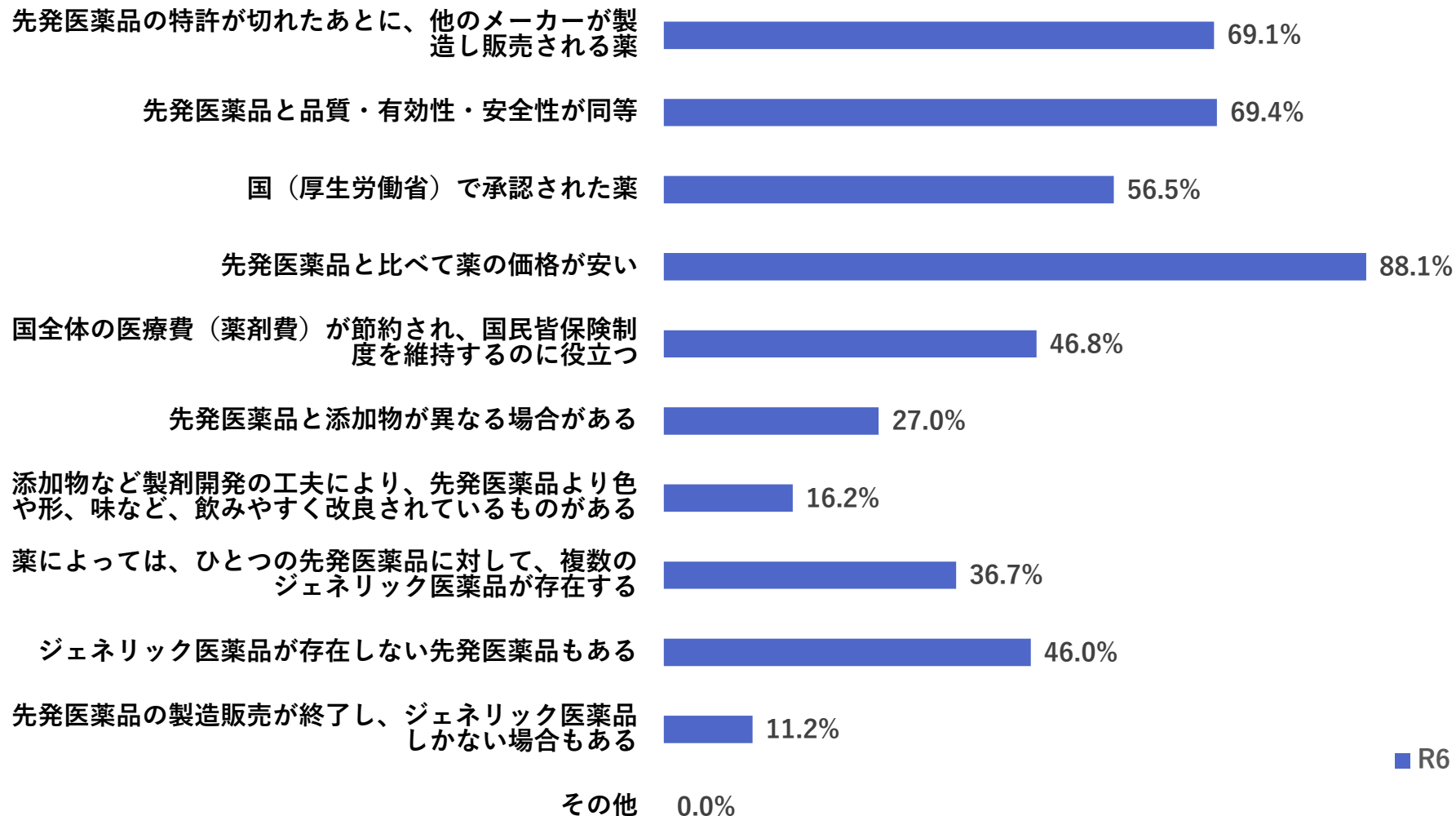
- R6年度は「よく知っている」が38.5%でR4年度の33.8%より増加した。「だいたい知っている」と合わせると、今回の調査でも90%を超えている。
- H20年度と比較すると、「よく知っている」と「だいたい知っている」の合計が31.0ポイント増加した。



問2.「ジェネリック医薬品」について知っている内容は何ですか。（複数選択式）

県民

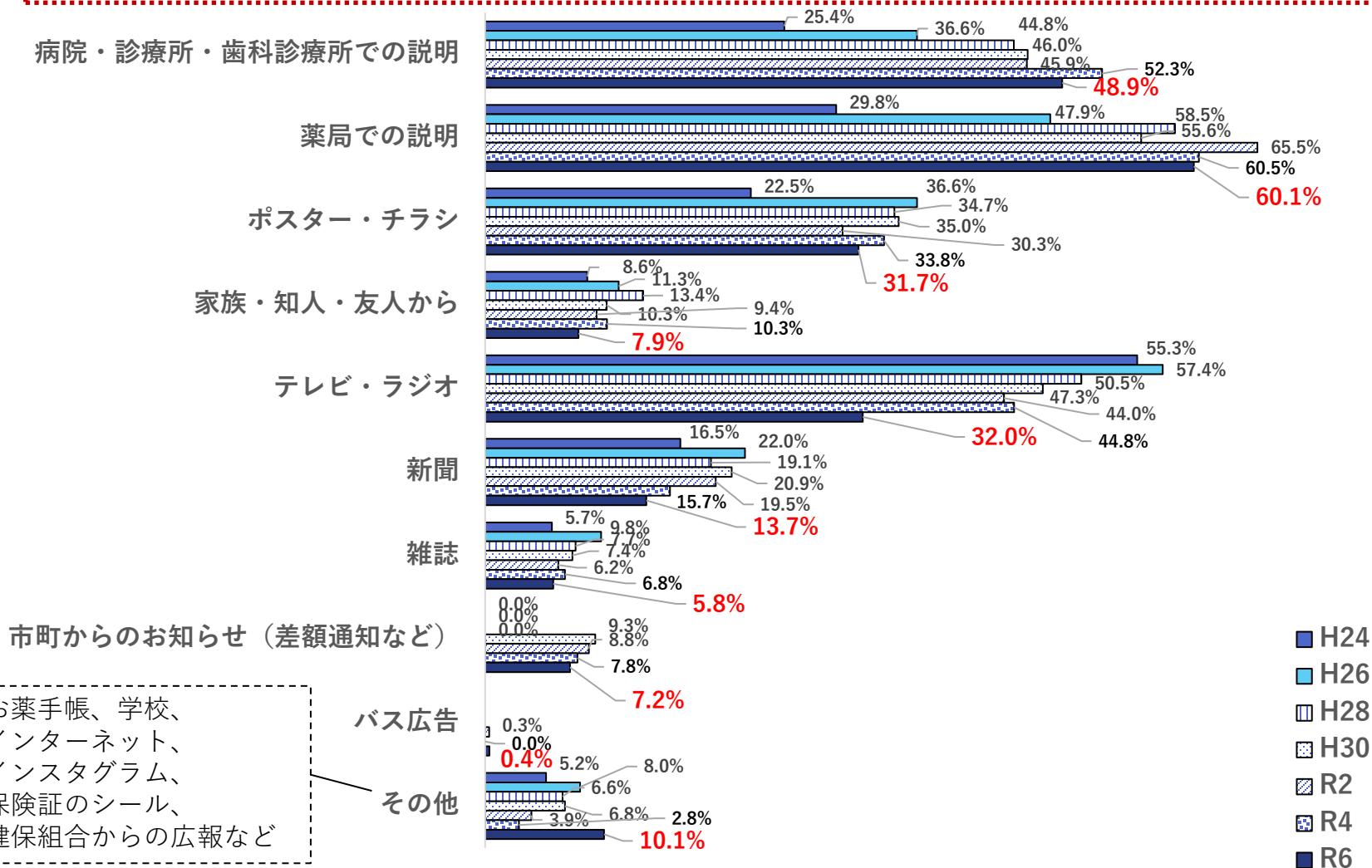
- 「先発医薬品と比べて薬の価格が安い」が88.1%と最も高かった。一方、「先発医薬品の製造販売が終了し、ジェネリック医薬品しかない場合もある」が11.2%と最も低かった。



問3.「ジェネリック医薬品」のことについて、どのようにしてお知りになりましたか。（複数選択式）

県民

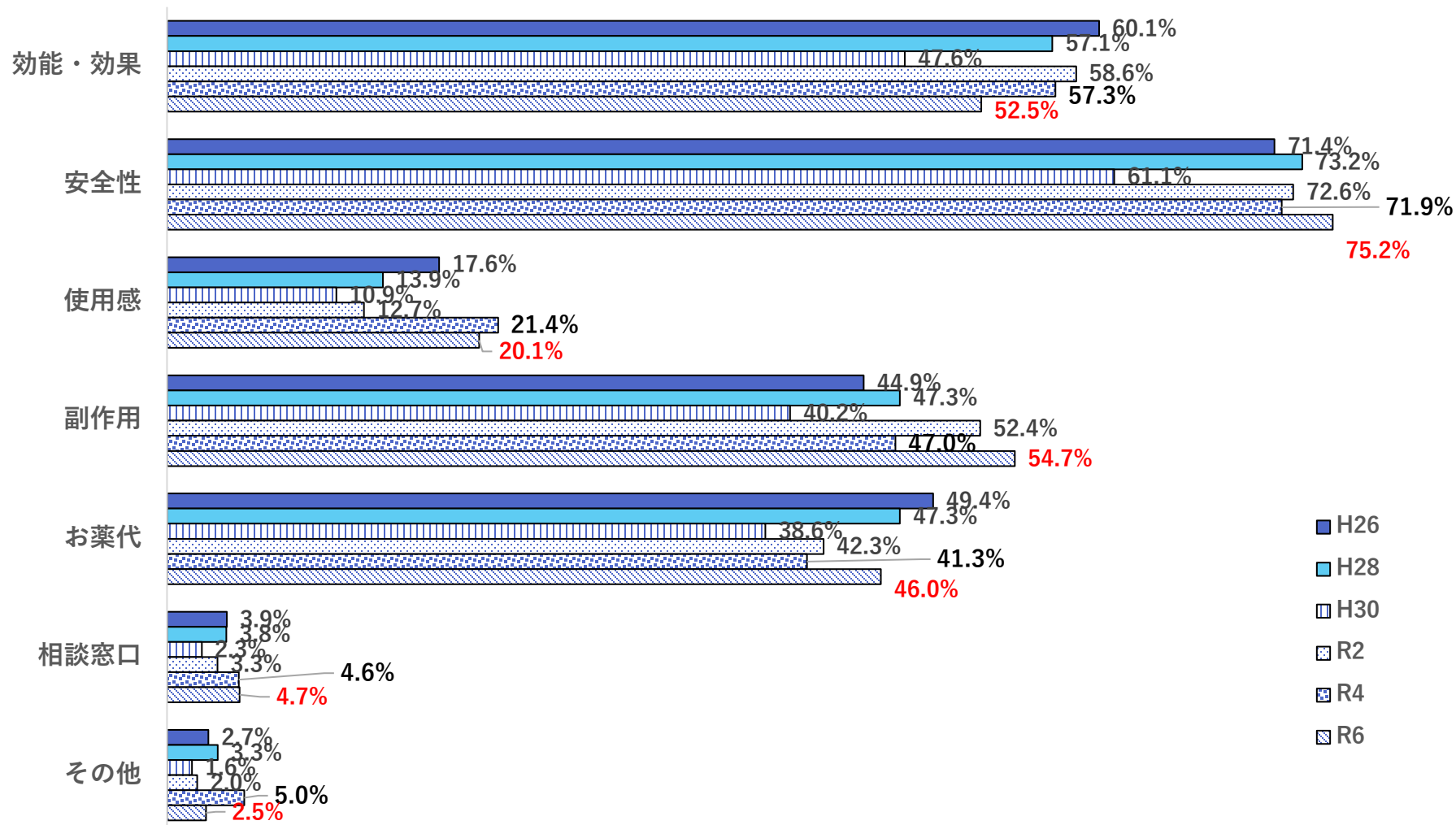
- R6年度は「薬局での説明」が60.1%と最も高く、続いて「病院・診療所・歯科診療所での説明」が48.9%、「テレビ・ラジオ」が32.0%であった。
- H24年度から「薬局での説明」が30.3ポイント、「病院・診療所・歯科診療所での説明」が23.5ポイント増加した。



問4.「ジェネリック医薬品」について、知りたいことは何ですか？（複数選択式）

県民

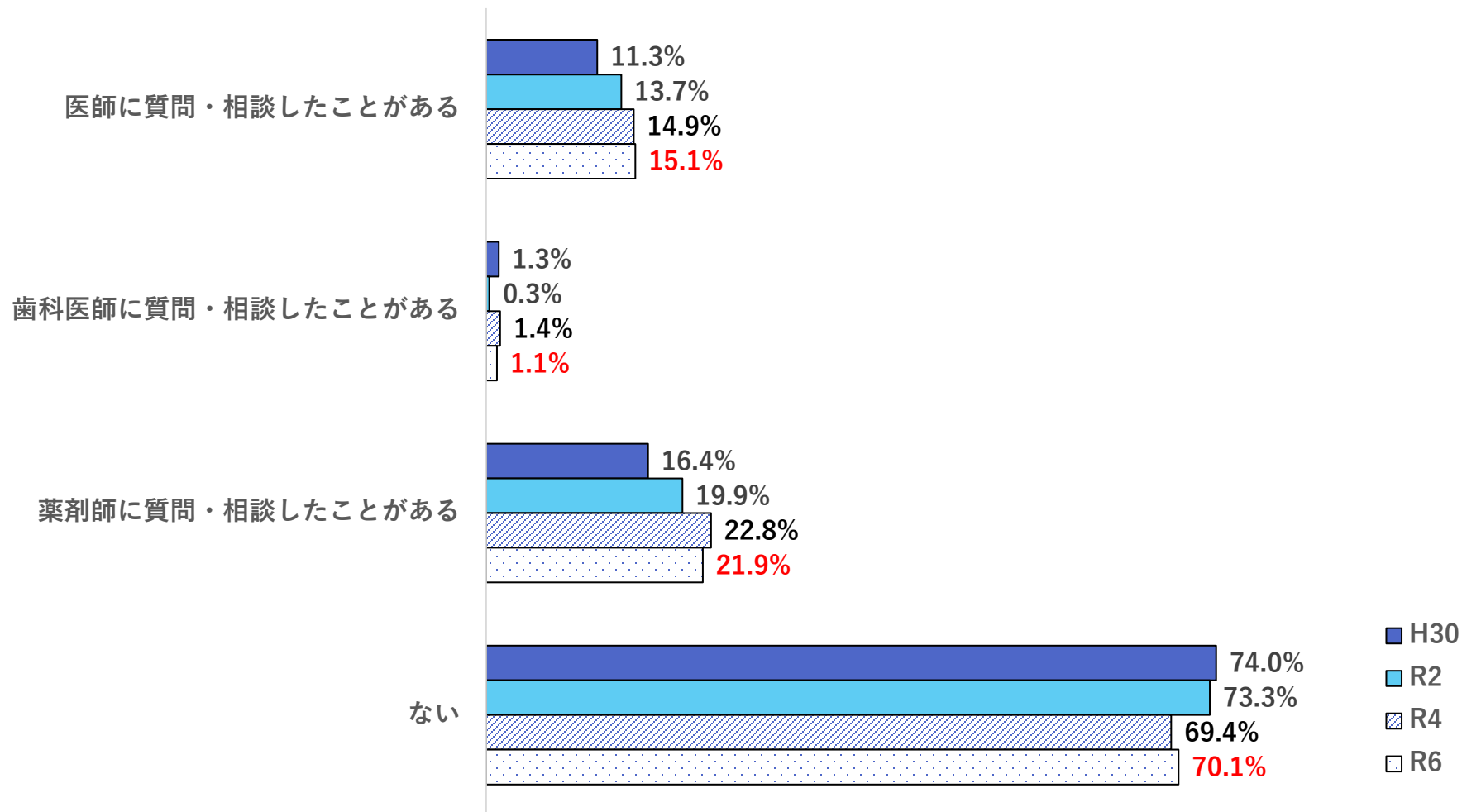
- R6年度は「安全性」が75.2%と最も高く、続いて「副作用」が54.7%、「効能・効果」が52.5%であった。
- H26年度から大きな変化はなかった。



問5.「ジェネリック医薬品」について、医療機関（病院・診療所・歯科診療所）や薬局で質問や相談をした経験はありますか。（複数選択・入力式）

県民

- R6年度は約70%の方が医療機関や薬局で質問や相談をした経験がないと回答した。
- H30年度から医療機関や薬局で質問・相談した方が増加傾向にある。



問6.《問5で「質問・相談したことがある」と回答した方》その質問・相談内容について、
簡単にご記入ください。（記入式）

県民

● 質問・相談内容として、「効能・効果に関する質問・相談をした」が31件で最も多く、続いて「安全性に関する質問・相談をした」が11件、「ジェネリック医薬品を希望した」が10件となった。

● 効能・効果に関する質問・相談をした 31件
(先発医薬品と効能・効果の差はないか、劣っていないか 等)

● 支払額に関する質問・相談をした 9件
(お薬代の差額はどのくらいか、安くなるか 等)

● 安全性に関する質問・相談をした 11件
(安全性に問題がないか 等)

● 副作用に関する質問・相談をした 7件
(副作用のリスクは高くないか 等)

● ジェネリック医薬品を希望した 10件
(医師・薬剤師にジェネリック医薬品を希望した 当)

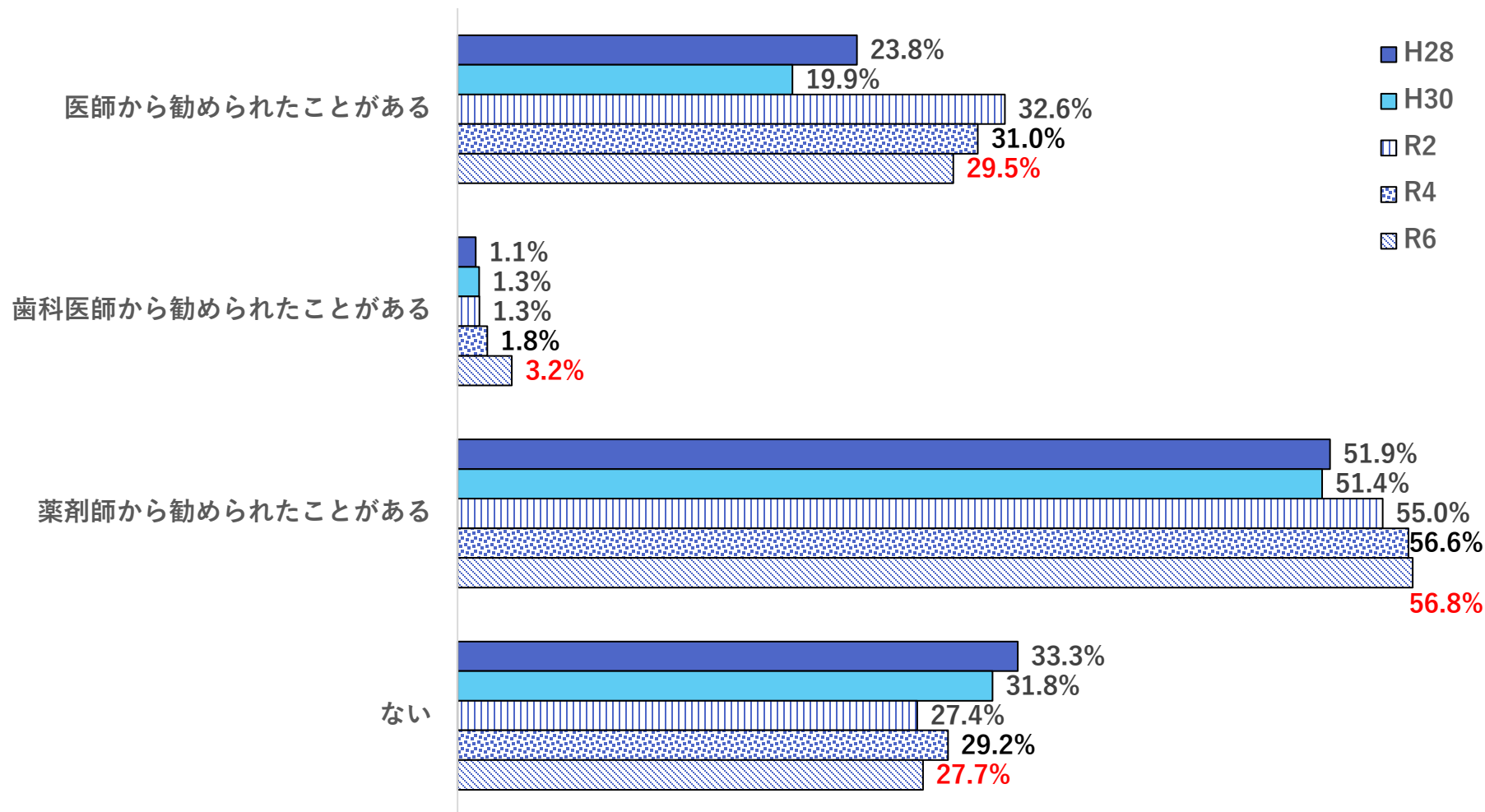
● 添加物に関する質問・相談をした 3件
(取りたくない添加物が入っている 等)

● その他 18件
(先発医薬品を希望した、品質は問題ないか 等)

問7.「ジェネリック医薬品」について、医療機関（病院・診療所・歯科診療所）や薬局で勧められた経験はありますか。（複数選択式）

県民

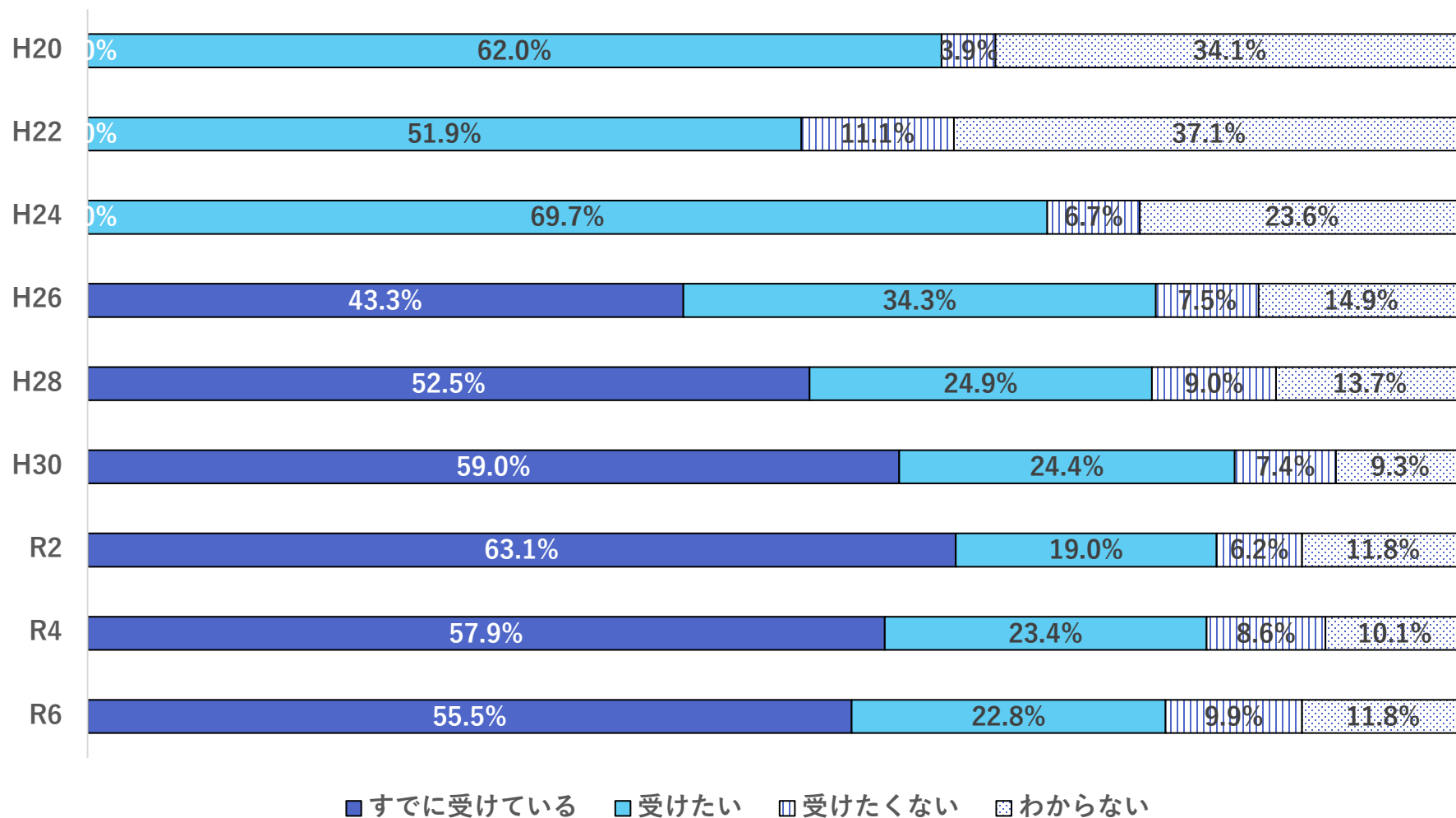
- R6年度は「薬剤師から勧められたことがある」が56.8%と最も高かった。
- 「ない」が依然として27.7%ある。
- 「医師から勧められたことがある」がR2年度から減少したが、H28年度からは5.7ポイント増加した。



問9.医療機関や薬局で、「ジェネリック医薬品」の交付を受けたいと思われませんか。（単一選択式）

県民

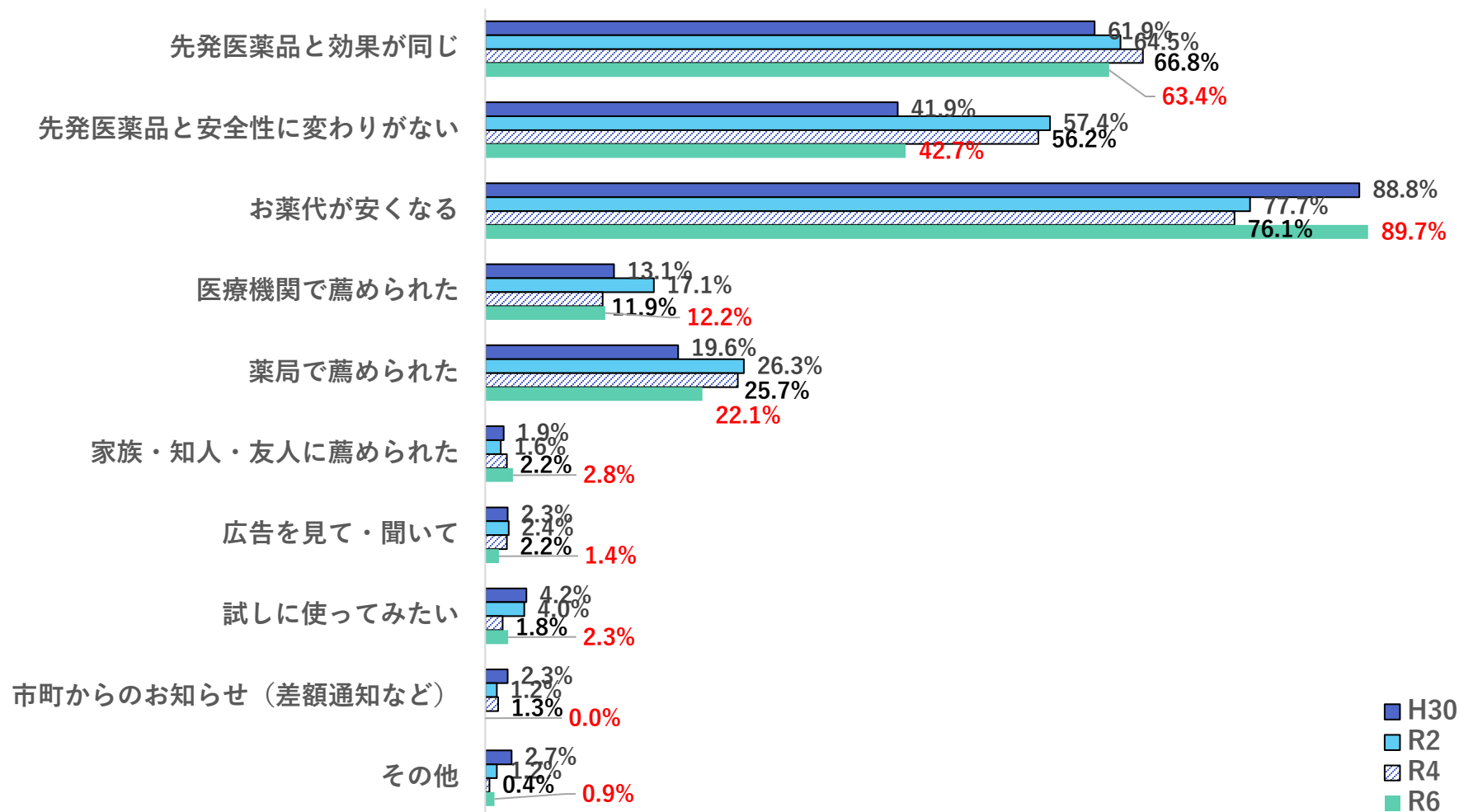
- R6年度は「すでに受けている」が55.5%であり、R2年度からはやや減少している。
- 「すでに受けている」と「受けたい」の合計及び「受けたくない」は大きな変化はなかった。



問10. 《問9で「1. すでに受けている」「2. 受けたい」と回答した方》「ジェネリック医薬品」の交付を受けた又は受けたい理由は何ですか。（複数選択式）

県民

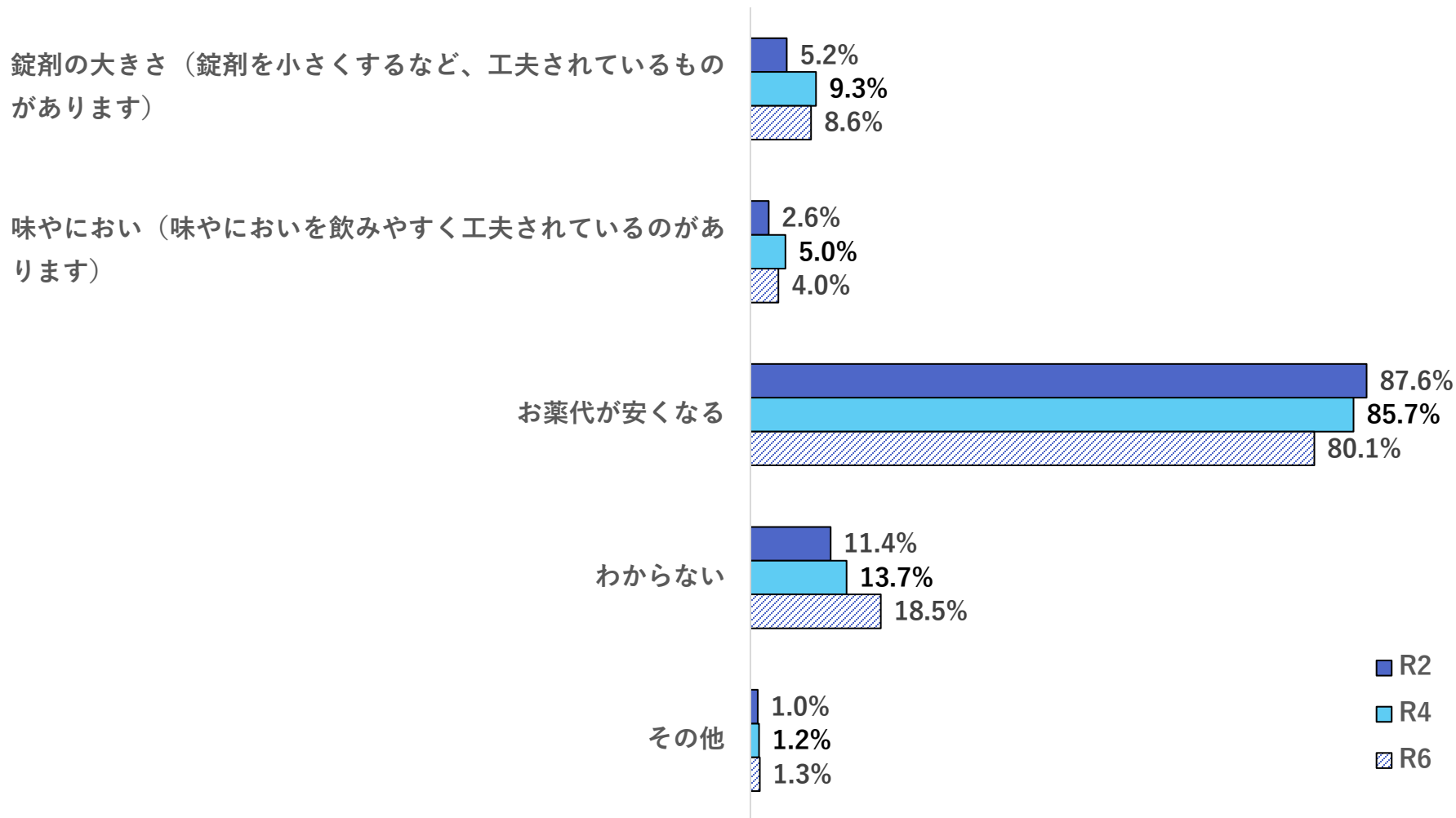
- R6年度は「お薬代が安くなる」が89.7%と最も高く、続いて「先発医薬品と効果が同じ」が63.4%、「先発医薬品と安全性に変わりがない」が42.7%であった。
- R6年度の「先発医薬品と安全性に変わりがない」はR2年度から14.7ポイント減少。



問11. 《問9で「1. すでに受けている」と回答した方》「ジェネリック医薬品」を使って
みて良いと感じたことはありますか。（複数選択式）

県民

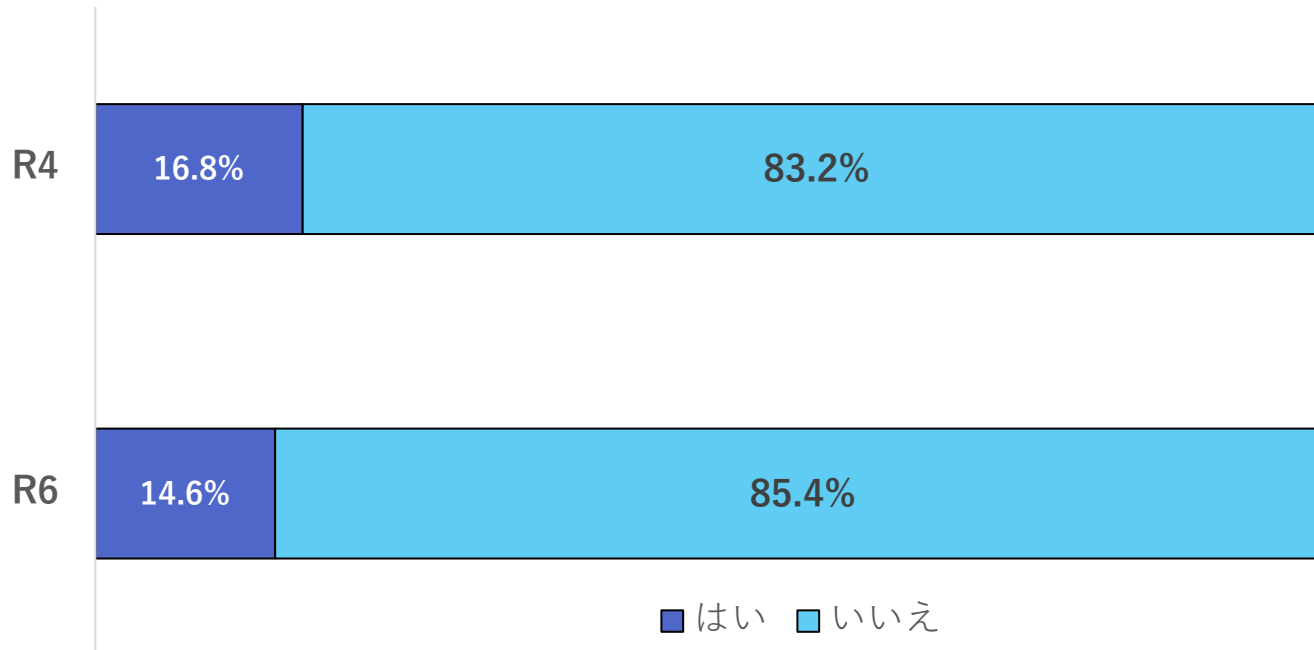
- 「お薬代が安くなる」が80.1%と最も高かった。
- R2年度と比較して「わからない」が増えている。



問12. 《問9で「1. すでに受けている」と回答した方》一昨年の複数の医薬品製造メーカーが起こした不祥事案に端を発し、後発医薬品における製品供給体制が不安定になりました。あなたが交付を受けている「ジェネリック医薬品」で医薬品が変更されるなどの影響がありましたか。

県民

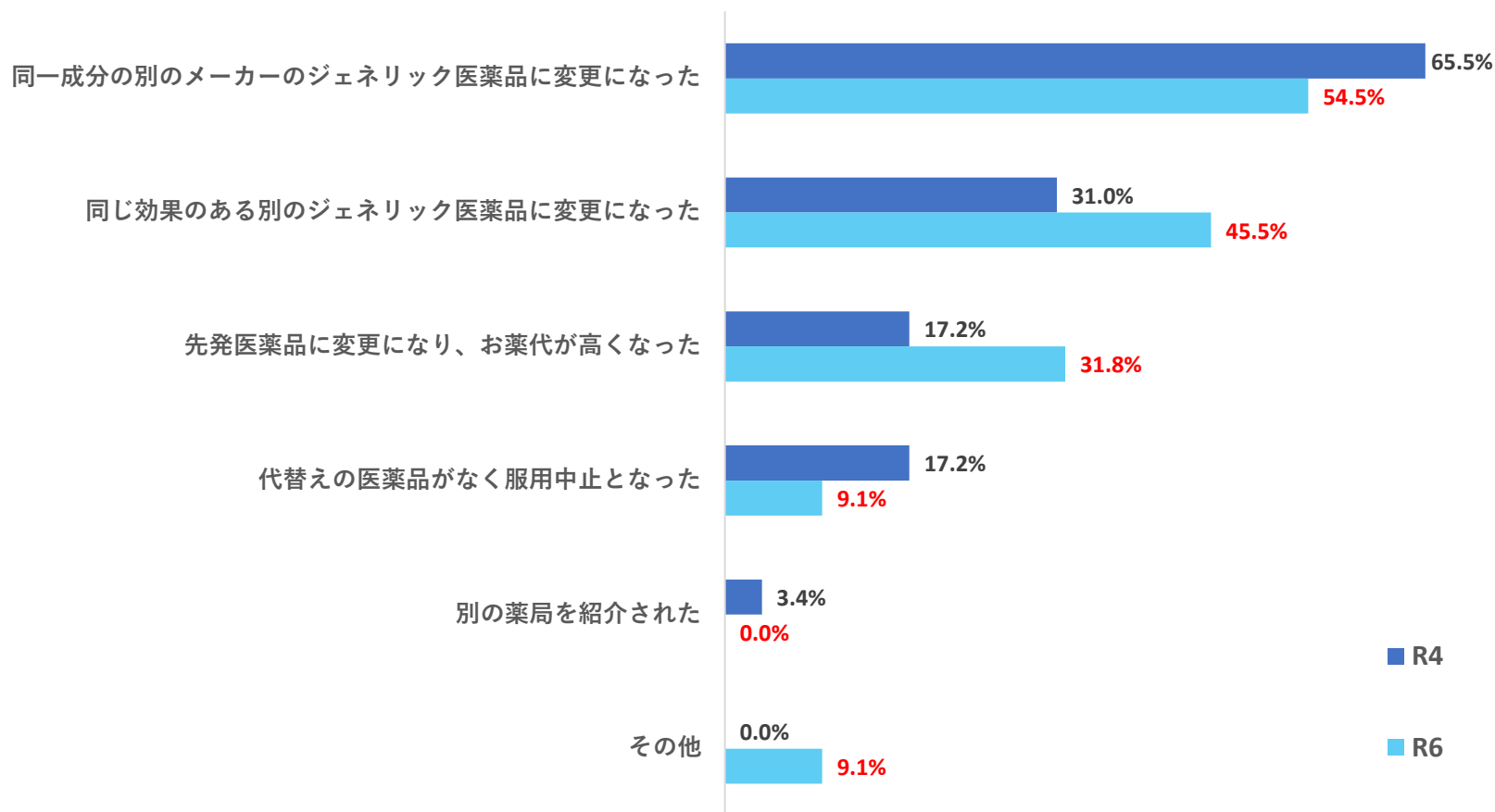
- R6年度は「はい」と回答した方（影響があった方）が14.6%であり、前回と横ばい傾向であった。



問13. 《問12で「1. はい」と回答した方》どのような影響がありましたか。（複数選択式）

県民

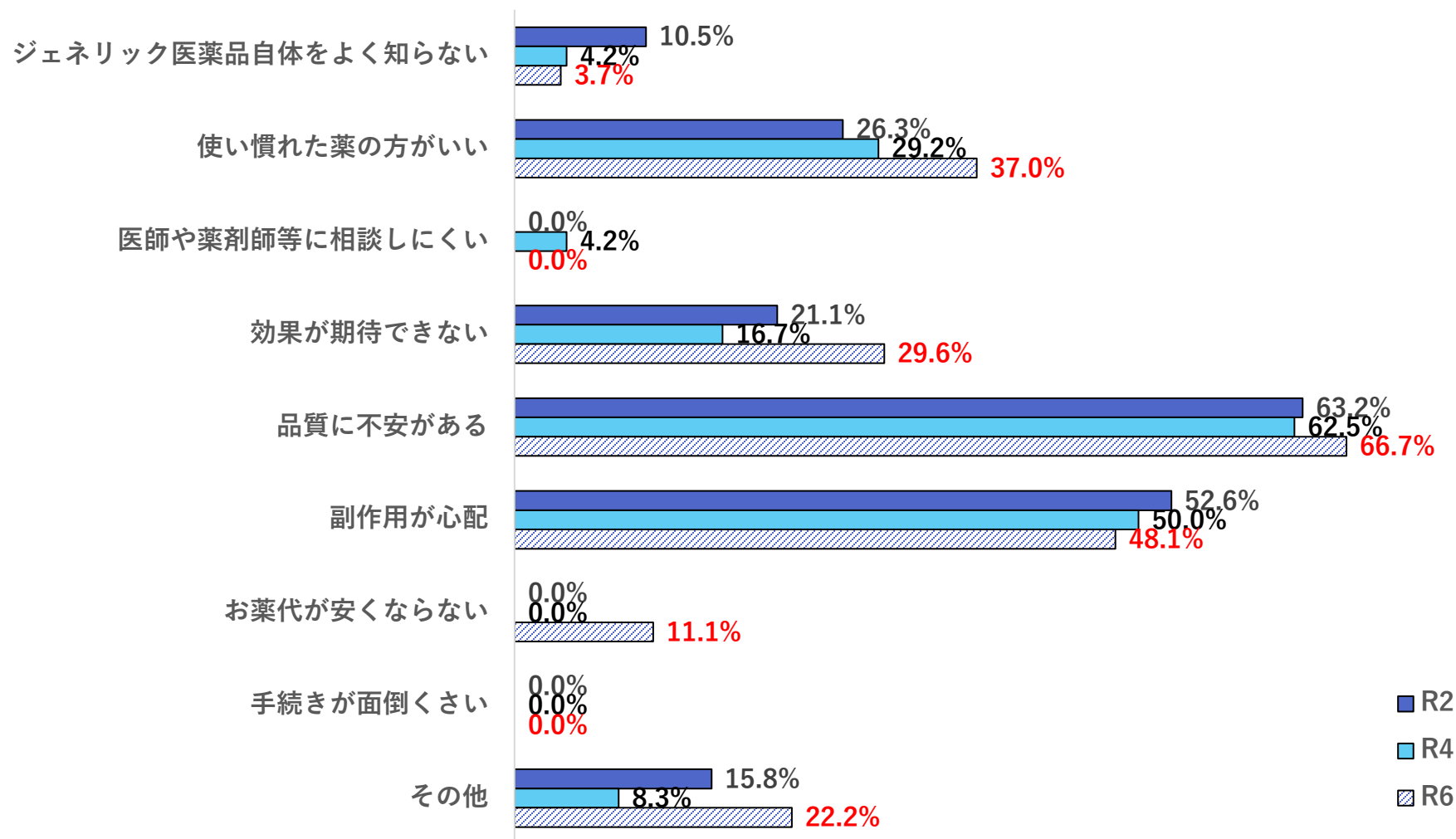
- R6年度は「同一成分の別のメーカーのジェネリック医薬品に変更になった」が54.5%と最も高かった。
- R6年度の「同じ効果のある別のジェネリック医薬品に変更になった」はR4年度から14.5ポイント増加した。
- R6年度の「先発医薬品に変更になり、お薬代が高くなった」はR4年度から14.6ポイント増加した。



問14. 《問9で「3. 受けたくない」と回答した方》「ジェネリック医薬品」の交付を受けた
くない理由は何ですか。（複数選択式）

県民

- 「品質に不安がある」が66.7%と最も高く、続いて「副作用が心配」が48.1%であった。
- R2と比較して「使い慣れた薬の方がいい」、「効果が期待できない」、「お薬代が安くない」が増加した。



問15. 《問9で「2. 使い慣れた薬の方がいい」と回答した方》その具体的な理由を教えてください。（記入式）

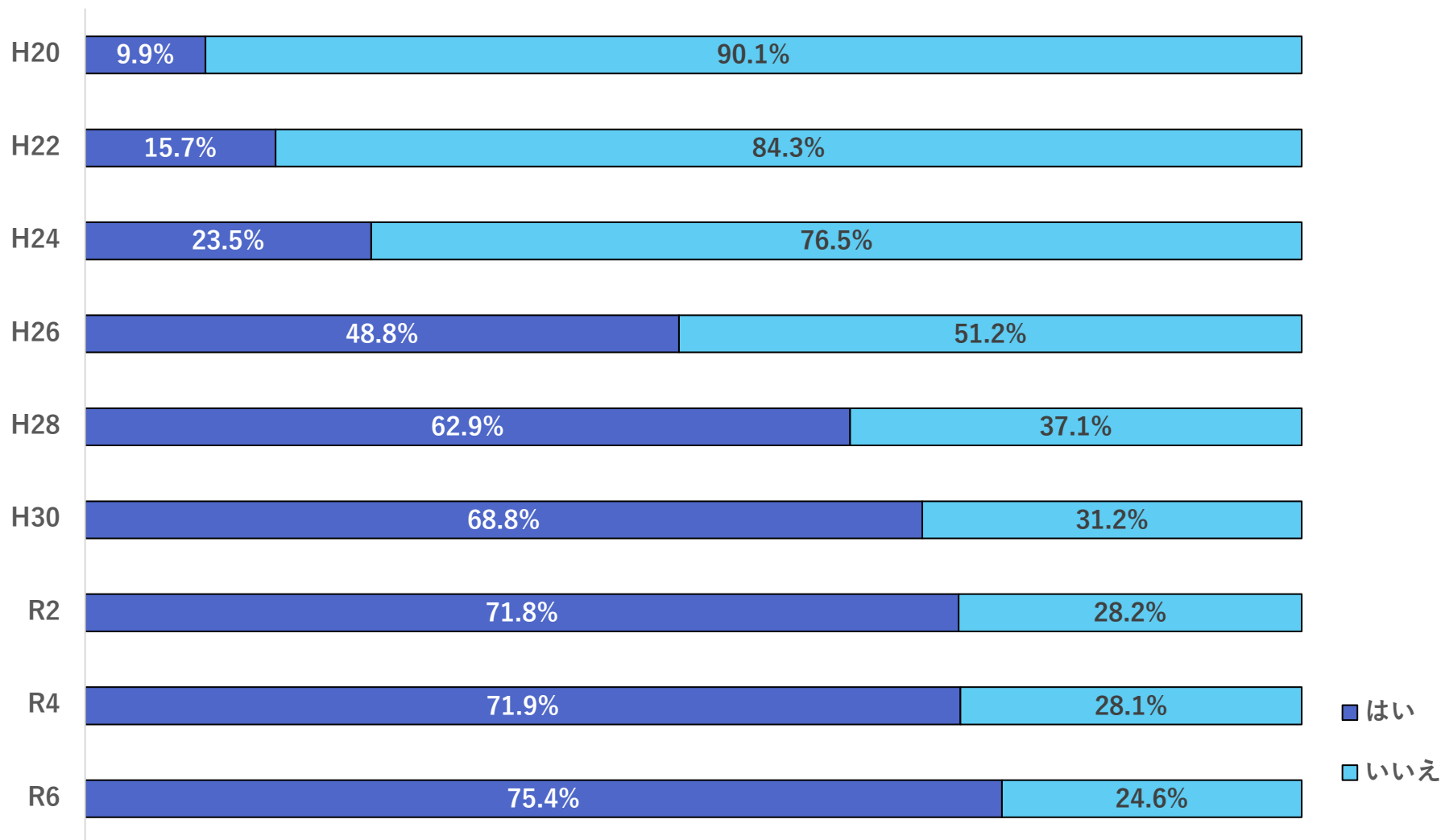
県民

- 価格より、品質。
- 家で分けるのですが、ジェネリックになるとどの薬かわからなくなったり間違えて誤飲する可能性があるため。

問16.医療機関や薬局で、実際に「ジェネリック医薬品」へ変更したことはありますか。（単一選択式）

県民

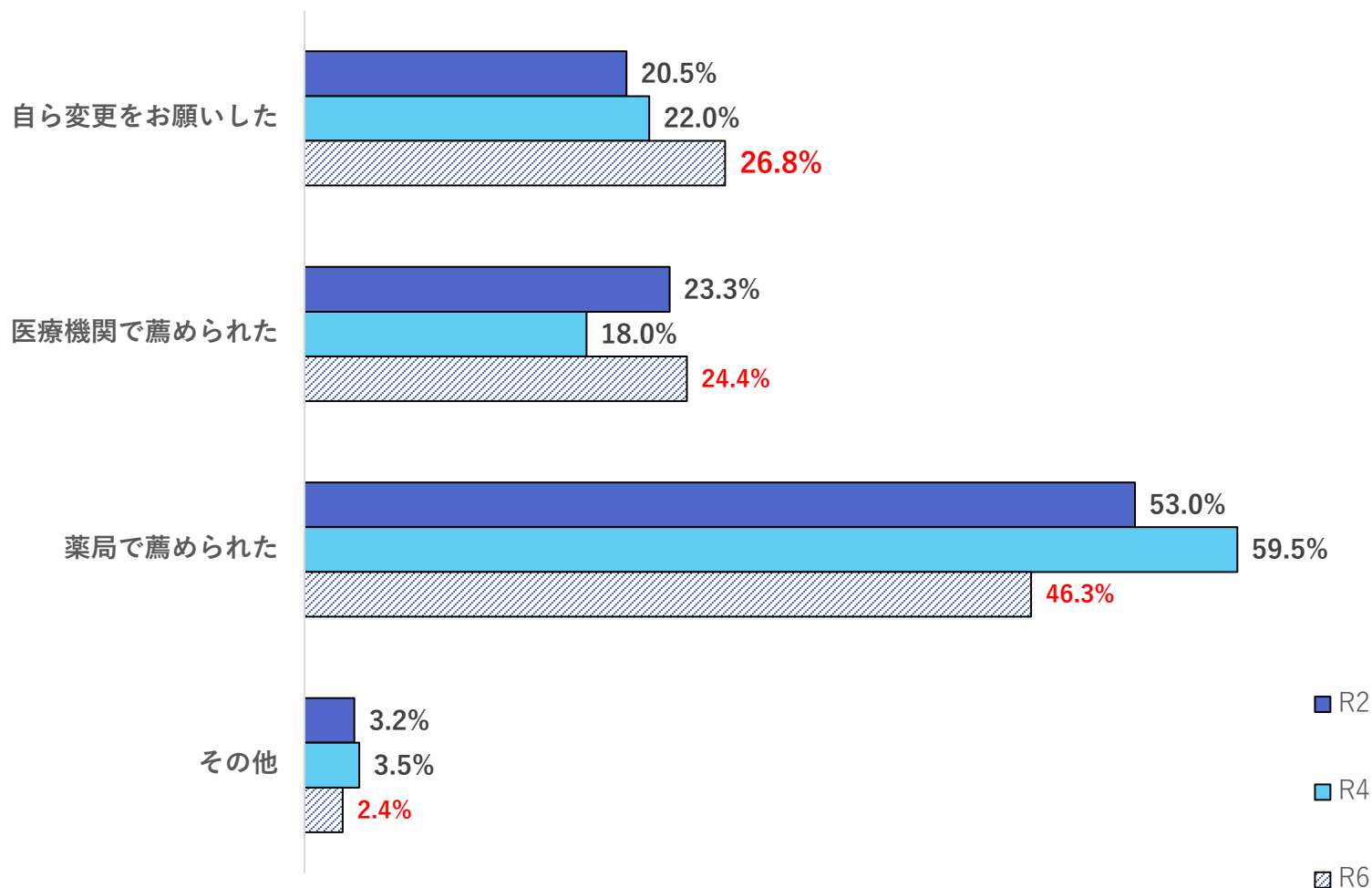
● R6年度は「はい」が75.4%であり、H20年度から「はい」が65.5ポイント増加した。



問17.《問16で「1. はい」と回答した方》どのようにして「ジェネリック医薬品」へ変更されましたか。主なものを一つ選んでください。（単一選択式）

県民

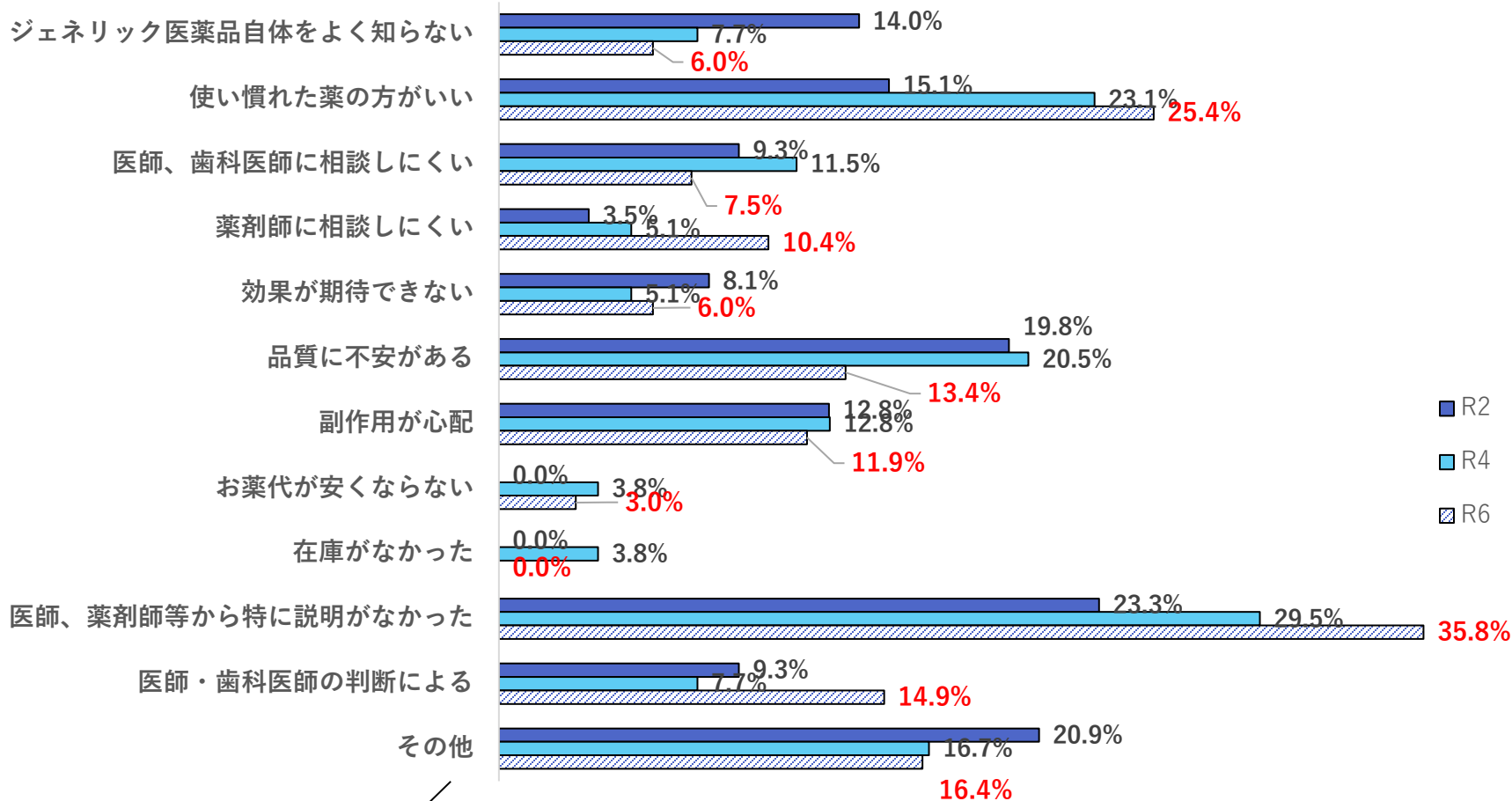
- 「薬局で薦められた」が46.3%で最も高く、続いて「自ら変更をお願いした」が26.8%であった。
- R6年度の「自ら変更をお願いした」がR2から6.3ポイント増加した。



問18.《問16で「2. いいえ」と回答した方》「ジェネリック医薬品」へ変更しなかった理由は何ですか。（複数選択式）

県民

- R6年度は「医師、薬剤師等から特に説明がなかった」が35.8%で最も高く、R2から12.5ポイント増加した。
- R6年度は「使い慣れた薬の方がいい」は25.4%であり、R2から10.3ポイント増加した。
- R6年度は「品質に不安がある」は13.4%であり、R2からは6.4ポイント減少した。

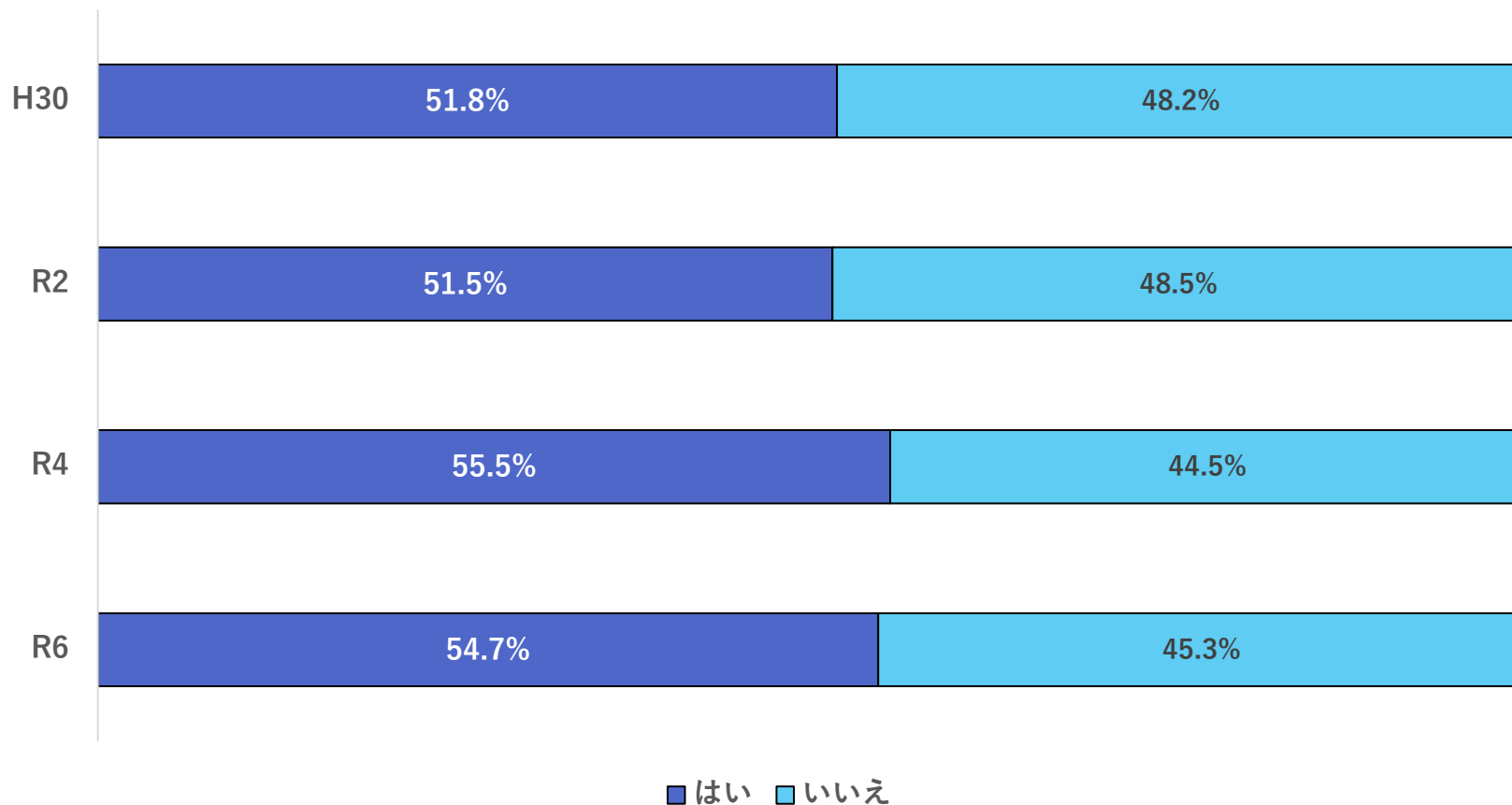


薬を飲んでいない（1件）、始めからジェネリック医薬品を服用している（4件）、過去に副作用が出たことがある（1件）、その他（5件）

問19.医療機関や薬局の窓口で提示することができる「ジェネリック医薬品希望カード」もしくは「ジェネリック医薬品希望シール」のことをご存知ですか。（単一選択式）

県民

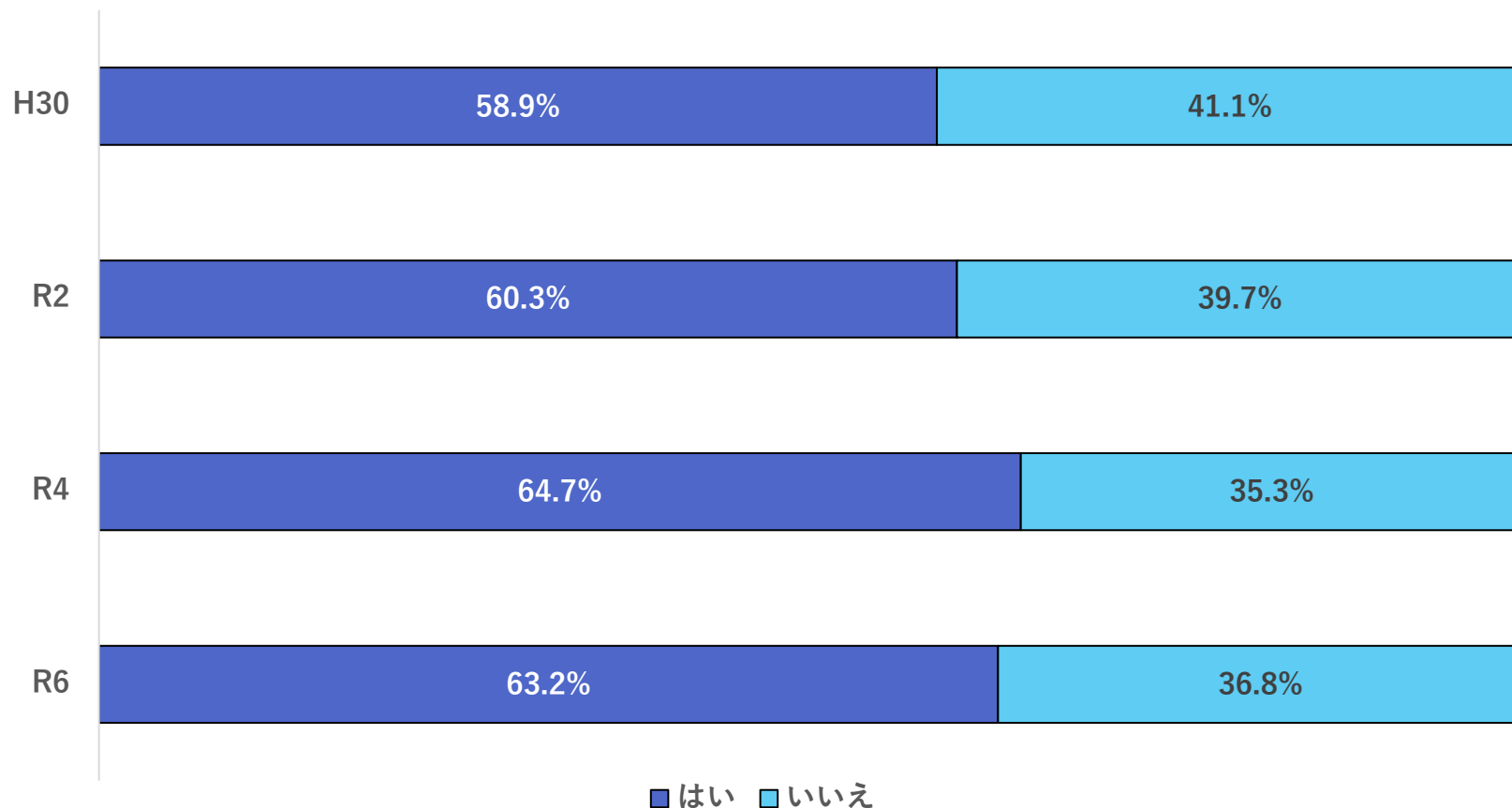
- R4年度は「はい」が54.7%であった。
- H30年度と比較して大きな変化は見られなかった。



問20.《問19で「1. はい」と回答した方》「ジェネリック医薬品希望カード」もしくは「ジェネリック医薬品希望シール」をお持ちですか。（単一選択式）

県民

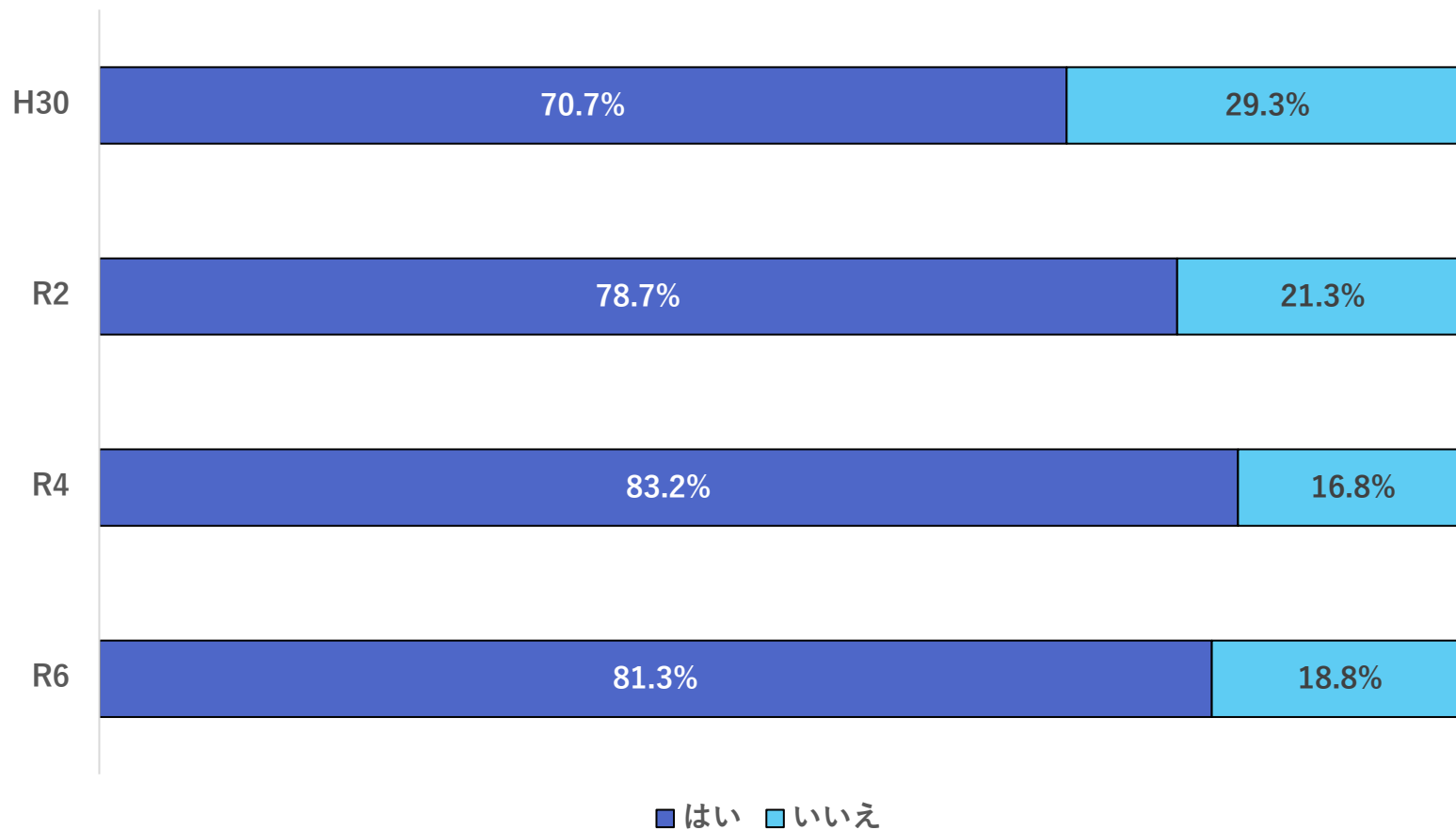
- R6年度は「はい」が63.2%であった。
- H30年度から「はい」と回答した方がやや増加し、R4とあまり変わらない。



問21. 《問20で「1. はい」と回答した方》「ジェネリック医薬品希望カード」もしくは「ジェネリック医薬品希望シール」を使用した経験はありますか。（単一選択式）

県民

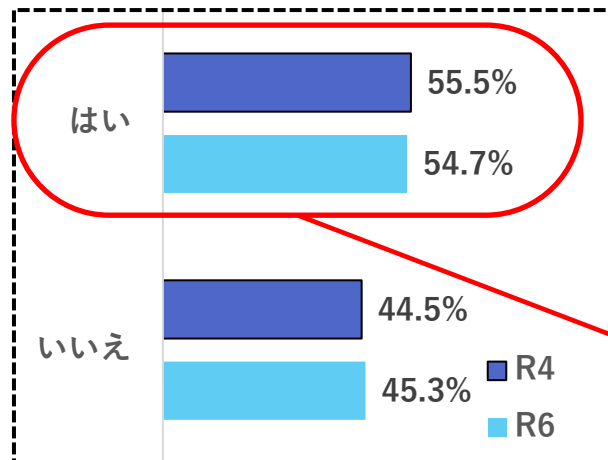
- R6年度は「はい」が81.3%であった。
- H30年度と比較すると「はい」と回答した方が10.6ポイント増加した。



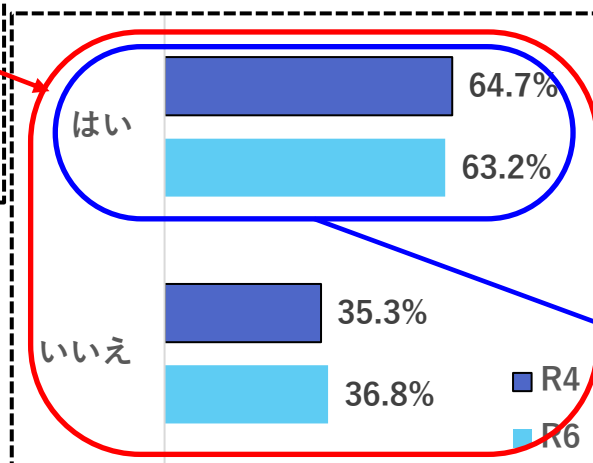
問19.医療機関や薬局の窓口で提示することができる「ジェネリック医薬品希望カード」もしくは「ジェネリック医薬品希望シール」のことをご存知ですか。（単一選択式）

県民

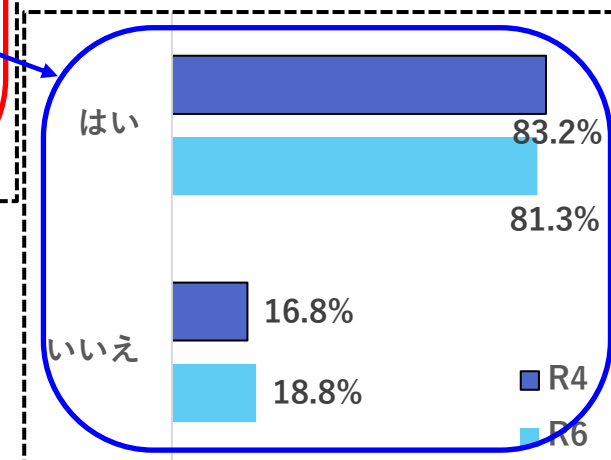
- R6年度は「ジェネリック医薬品希望カード・シール」を知っている人は54.7%、そのうち63.2%がカード・シールを所持しており、うち81.3%が使用経験があった。
- R4年度と比較して大きな変化は見られなかった。。



問20.《問19で「1. はい」と回答した方》「ジェネリック医薬品希望カード」もしくは「ジェネリック医薬品希望シール」をお持ちですか。（単一選択式）



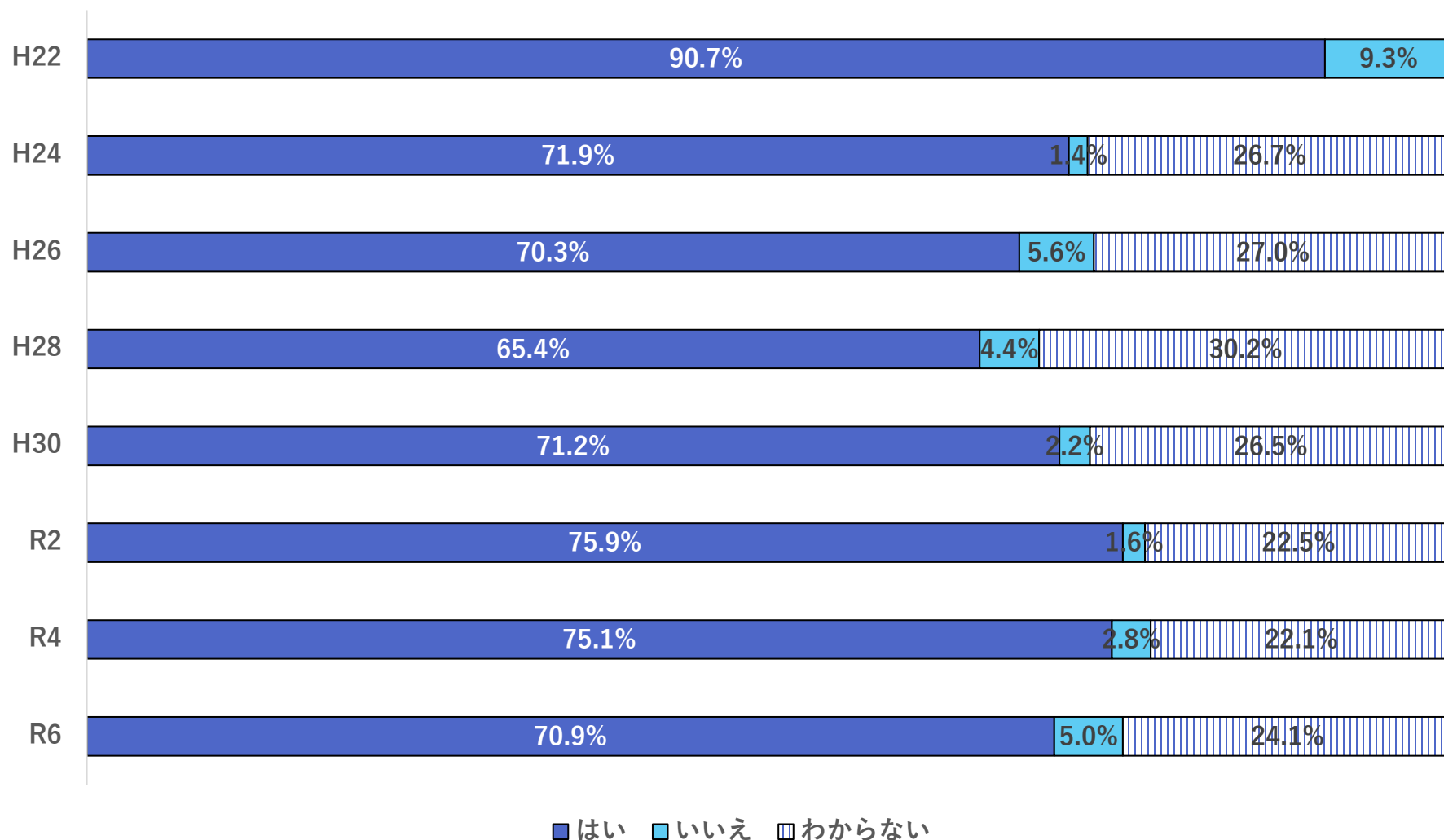
問21.《問19で「1. はい」と回答した方》「ジェネリック医薬品希望カード」もしくは「ジェネリック医薬品希望シール」を使用した経験はありますか。（単一選択式）



問22.将来にわたって安心して医療を受けられることが出来るように（医療保険財政の改善）、
「ジェネリック医薬品」を使用促進することは必要だと思いますか。（単一選択式）

県民

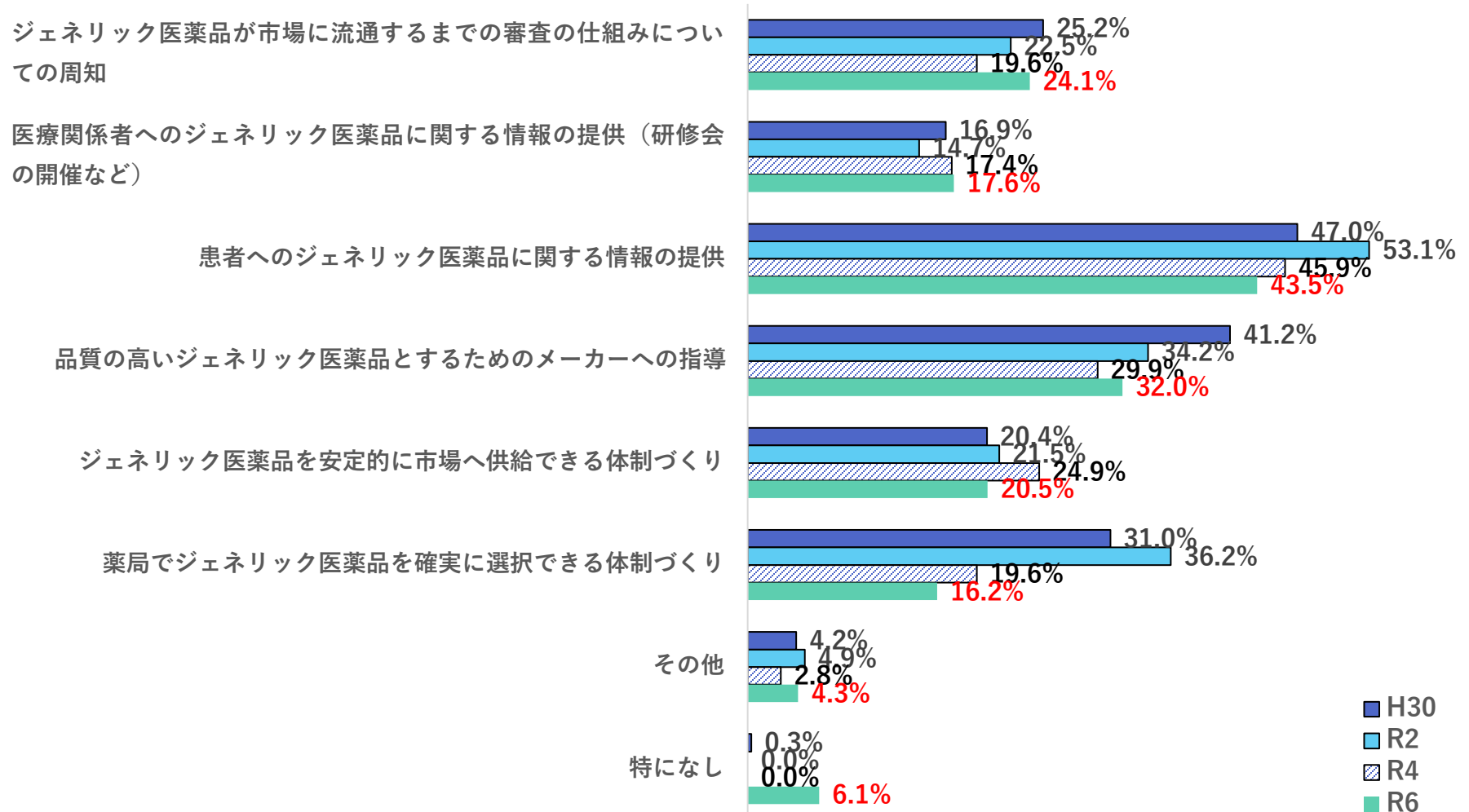
- R6年度は「はい」が70.9%であった。
- H24年度から大きな変化は見られなかった。



問23. ジェネリック医薬品の利用に関して、行政（厚生労働省、長崎県福祉保健部薬務行政室）の施策に対し要望することがあれば、該当するものを2つ以内で選んでください。（2つ選択）

県民

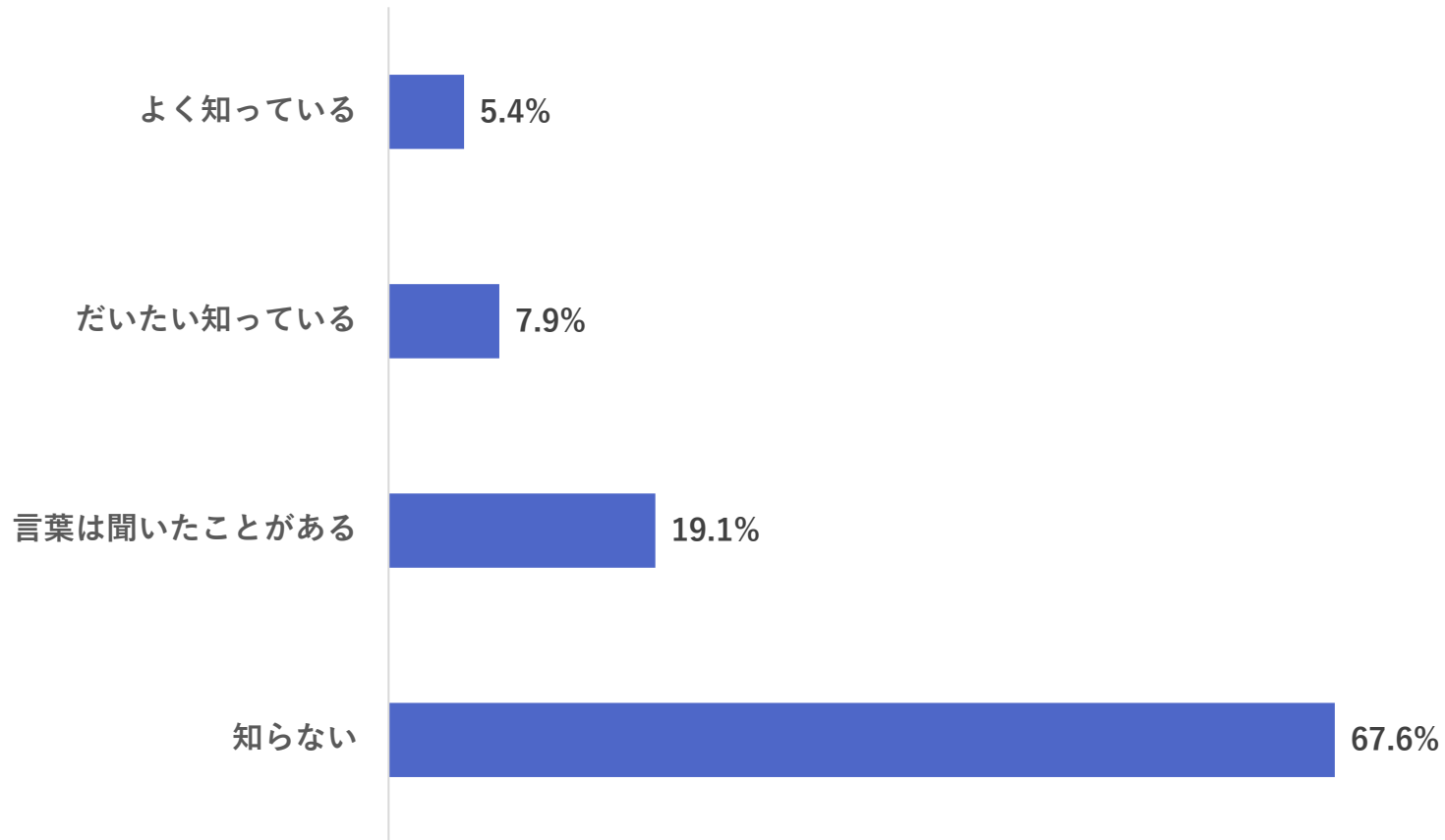
- R4年度は「患者へのジェネリック医薬品に関する情報の提供」が43.5%で最も高く、続いて「品質の高いジェネリック医薬品とするためのメーカーへの指導」が32.0%、「ジェネリック医薬品が市場に流通するまでの審査の仕組みについての周知」が24.1%であった。



問24.「バイオ医薬品」のことについてご存知ですか。（単一選択式）

県民

- R6年度は「知らない」が67.6%で最も高く、「よく知っている」が5.4%、「だいたい知っている」は7.9%にとどまった。

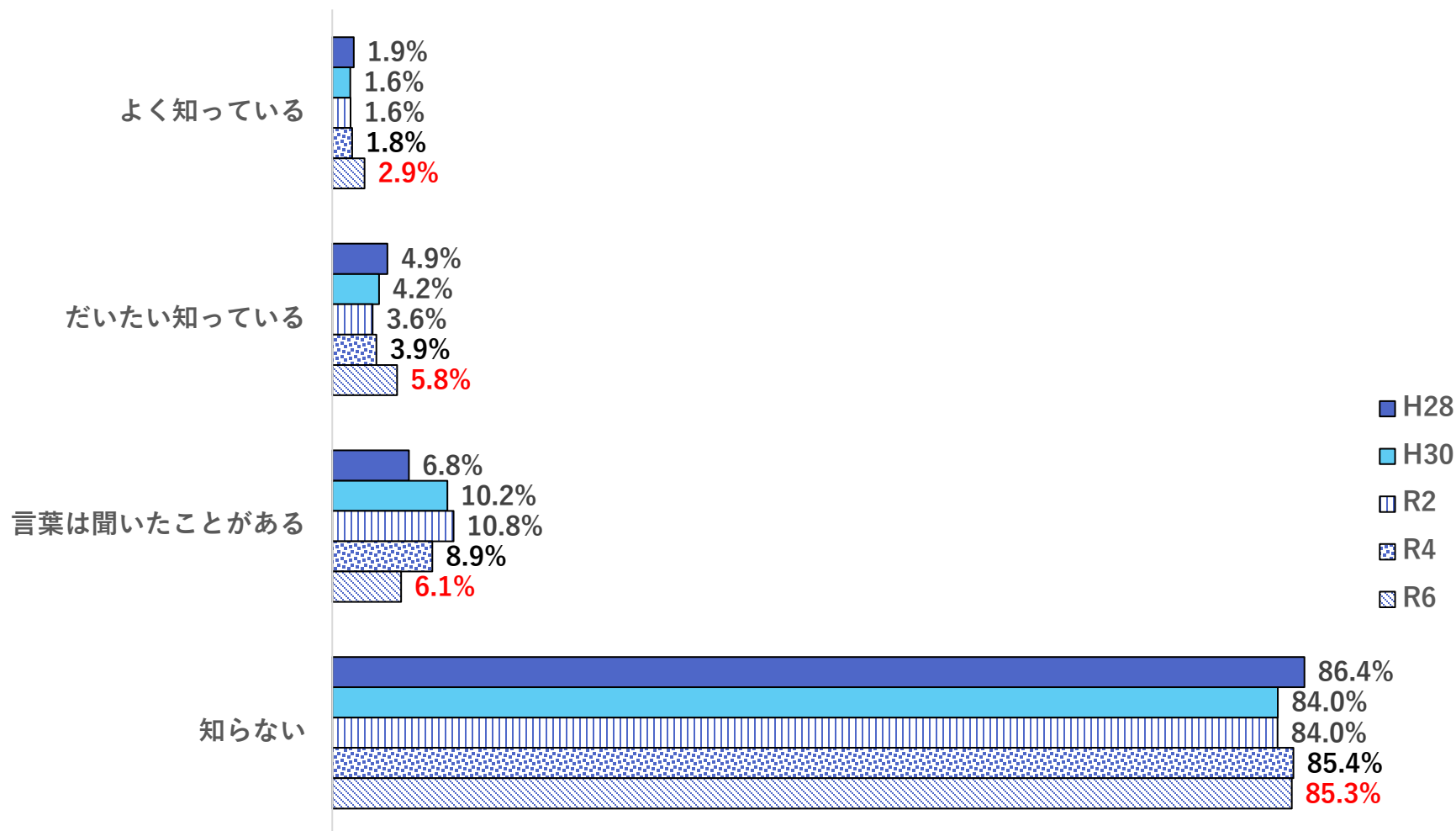


R6

問25.「バイオシミラー」（バイオ後続品）のことについてご存知ですか。（単一選択式）

県民

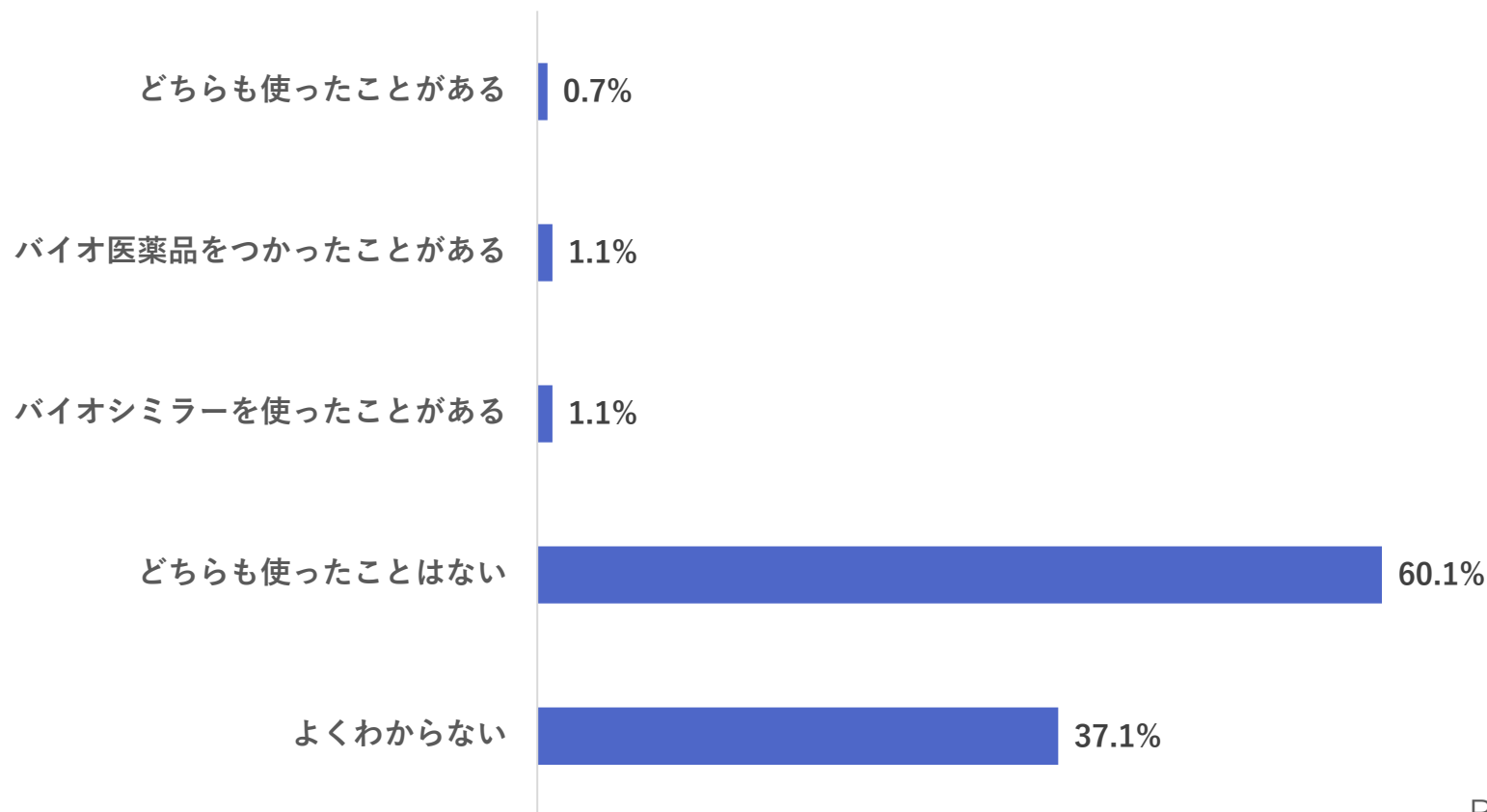
- R6年度は「知らない」が85.3%で最も高く、「よく知っている」が2.9%、「だいたい知っている」は5.8%にとどまった。
- H28年度から大きな変化は見られなかった。



問26.「バイオ医薬品」又は「バイオシミラー」を使ったことがありますか。（単一選択式）

県民

- R6年度は「どちらも使ったことはない」が60.1%で最も高く、続いて「よくわからない」が37.1%であった。

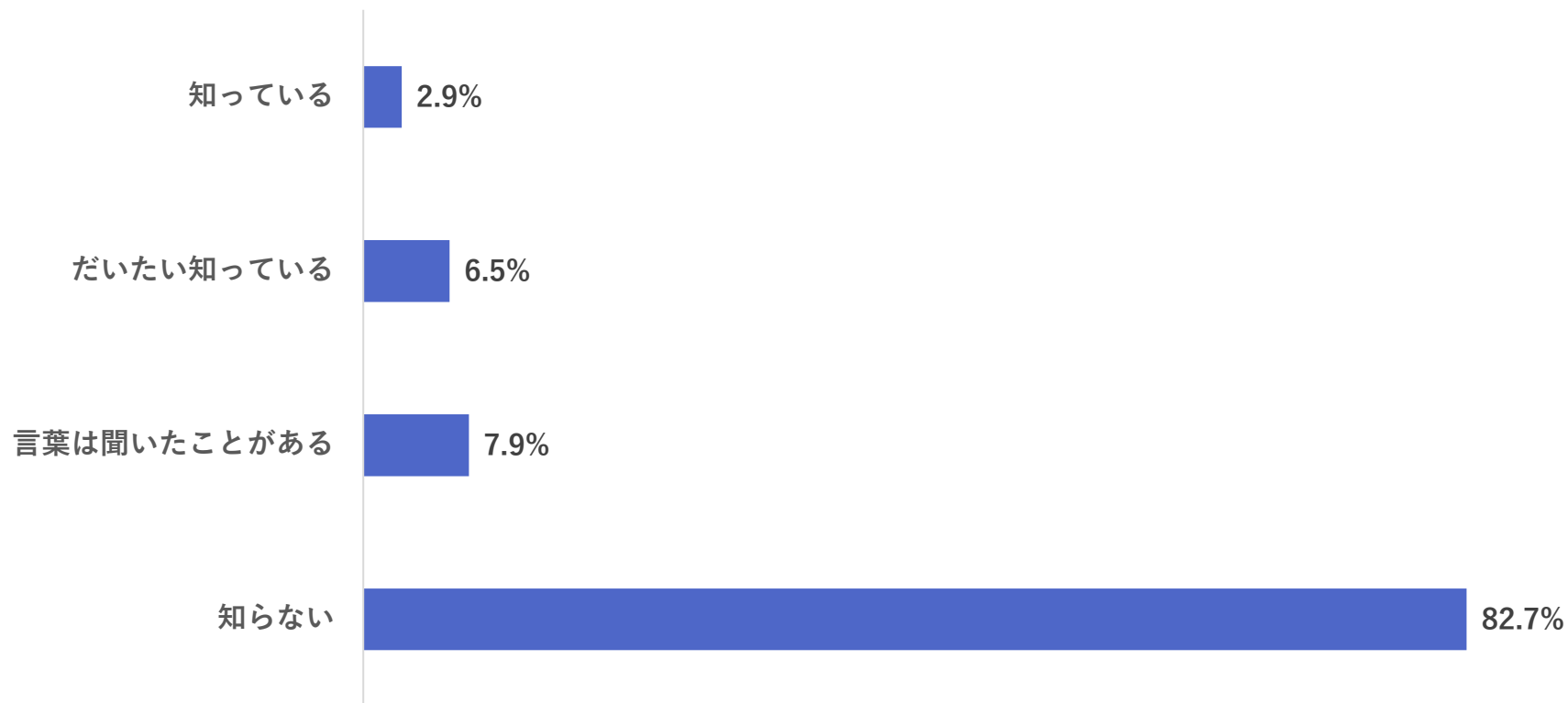


R6

問27.「後発医薬品のある先発医薬品（長期収載品）の選定療養」についてご存知ですか。
（単一選択式）

県民

- R6年度は「知らない」が82.7%で最も高く、「知っている」が2.9%、「だいたい知っている」は6.5%にとどまった。



R6